

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																									
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																									
	3 目	教育指導奨励費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																									
実施計画掲載ページ		P22	小 事 業	教育指導奨励費																												
事業コード		02010221	事 業 名	小中学校児童生徒体育及び文化活動補助金交付事業																												
目的及び事業内容		小・中学校の文化活動及び体育活動の充実を図るとともに、県大会以上の大会へ出場する際の交通費の一部助成等により保護者負担を軽減する。 ・補助金の交付（平成23年度から文化活動と体育活動を一体化）																														
取組実績		補助金の交付 音楽コンクール県大会以上に参加した小・中学校に対し、大会に参加する交通費の一部及び楽器輸送費を助成した。 ・県大会参加回数 12回（9校） ・東北大会参加回数 1回（1校） ・補助金交付額 576,860円 体育活動県大会以上に参加した中学校に対し、大会に参加する交通費の一部を助成した。 ・県大会参加回数 42回（17校） ・東北大会参加回数 16回（11校） ・全国大会参加回数 4回（4校） ・補助金交付額 2,874,161円																														
成 果		音楽コンクールにおける県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> <tr> <td>補助対象校（補助件数）</td> <td>6校（9件）</td> <td>4校（8件）</td> <td>9校（13件）</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>232,775円</td> <td>1,166,874円</td> <td>576,860円</td> </tr> </table> 体育活動における県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> <tr> <td>補助対象校（補助件数）</td> <td>20校（74件）</td> <td>11校（34件）</td> <td>17校（62件）</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>3,894,711円</td> <td>3,037,842円</td> <td>2,874,161円</td> </tr> </table>							主な指標項目	H22	H23	H24	補助対象校（補助件数）	6校（9件）	4校（8件）	9校（13件）	補助金交付額	232,775円	1,166,874円	576,860円	主な指標項目	H22	H23	H24	補助対象校（補助件数）	20校（74件）	11校（34件）	17校（62件）	補助金交付額	3,894,711円	3,037,842円	2,874,161円
主な指標項目	H22	H23	H24																													
補助対象校（補助件数）	6校（9件）	4校（8件）	9校（13件）																													
補助金交付額	232,775円	1,166,874円	576,860円																													
主な指標項目	H22	H23	H24																													
補助対象校（補助件数）	20校（74件）	11校（34件）	17校（62件）																													
補助金交付額	3,894,711円	3,037,842円	2,874,161円																													
成果に係る評価		各学校での文化活動に対する補助は、県大会等に参加する際の保護者負担軽減の観点から、継続して推進することが必要である。平成24年度については、県大会以上に出場する校数、件数ともに増加した。前年度は、全国大会に出場した中学校が1校あったが、平成24年度については全国大会出場校がなかったため、補助件数は増加したものの補助金額が減となった。 また、体育活動については、県大会以上に出場する校数、件数ともにおおよそ東日本大震災以前の水準に回復した。																														
（単位：円）																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	4,237,000	3,451,021				3,451,021																										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																	
	3 目	教育指導奨励費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																	
実施計画掲載ページ		P24	小 事 業	奨学金費																				
事業コード		02010310	事 業 名	奨学金貸与事業																				
目的及び事業内容		石巻市奨学金貸与条例に基づき、経済的理由により修学困難な生徒及び学生に学資を貸与し、有能な人材の育成を図る。 ・奨学金の貸与・償還																						
取組実績		1 奨学金の貸与 (1) 奨学生の新規募集を行い、奨学生選考委員会で16名の新規貸与者を決定した。 平成24年度以前に採用された既採用者のうち、退学や他奨学金制度として採用された等の理由で、5名が辞退した。 (2) 貸与区分（月額） <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">高校在学</td> <td rowspan="2">15,000円</td> <td>高専在学 第3学年まで</td> <td>15,000円</td> </tr> <tr> <td>高専在学 第4学年以上</td> <td>35,000円</td> </tr> <tr> <td>大学在学</td> <td>35,000円</td> <td>専修学校在学（専門課程）</td> <td>35,000円</td> </tr> </table> (3) 貸与者数 82名 (4) 貸与金額 30,030,000円							区 分	貸与月額	区 分	貸与月額	高校在学	15,000円	高専在学 第3学年まで	15,000円	高専在学 第4学年以上	35,000円	大学在学	35,000円	専修学校在学（専門課程）	35,000円		
区 分	貸与月額	区 分	貸与月額																					
高校在学	15,000円	高専在学 第3学年まで	15,000円																					
		高専在学 第4学年以上	35,000円																					
大学在学	35,000円	専修学校在学（専門課程）	35,000円																					
成 果		有能にも関わらず経済的理由で修学困難な生徒及び学生に教育の機会を与えた。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> <tr> <td>奨学金貸与者数（うち新規貸与者数）</td> <td>132名（39名）</td> <td>101名（25名）</td> <td>82名（16名）</td> </tr> <tr> <td>貸与金額</td> <td>47,520,000円</td> <td>36,210,000円</td> <td>30,030,000円</td> </tr> <tr> <td>滞納額</td> <td>34,631,200円</td> <td>35,856,700円</td> <td>44,123,200円</td> </tr> </table>							主な指標項目	H22	H23	H24	奨学金貸与者数（うち新規貸与者数）	132名（39名）	101名（25名）	82名（16名）	貸与金額	47,520,000円	36,210,000円	30,030,000円	滞納額	34,631,200円	35,856,700円	44,123,200円
主な指標項目	H22	H23	H24																					
奨学金貸与者数（うち新規貸与者数）	132名（39名）	101名（25名）	82名（16名）																					
貸与金額	47,520,000円	36,210,000円	30,030,000円																					
滞納額	34,631,200円	35,856,700円	44,123,200円																					
成果に係る評価		新規採用奨学生については、年々減少しているが、他の奨学金制度を利用する生徒が増えたためと考えられる。また、昨今の経済情勢下において、家計急変等に対応するため、年度内途中採用を平成22年度から実施しているが、今年度の途中採用希望者は1名と少数であった。利用者を増やすため、市の奨学金制度について周知方法を工夫していく必要がある。 償還については、依然として複数年滞納している者がおり、また今年度は平成23年度に震災により1年間償還猶予となっていた者の償還が再開されたが、償還が滞る者がいたことから、滞納額が増加した。今後は、相手の状況に配慮しながら効果的に滞納対策を行ってきたい。																						
（単位：円）																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	30,306,000	30,248,019				30,248,019																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																
	1 項	教育総務費		第 節		(1)	未来の人を育てる																																
	3 目	教育指導奨励費		()		(3)	子どものケアの実施																																
実施計画掲載ページ	P182		小 事業	ハイスクールカウンセラー配置事業費（緊急総合経済対策分）																																			
事業コード	40-103-002-281		事業名	ハイスクールカウンセラー配置事業〔住民生活〕																																			
目的及び事業内容	<p>カウンセラーによる相談活動を通して、生徒・保護者・教職員の精神的安定を図るとともに、問題行動等の未然防止や解決による生徒の健全育成に資する。</p> <p>1 ハイスクールカウンセラーの配置 2 生徒・保護者・教職員へのカウンセリングの実施 3 学校におけるカウンセリング講座等の支援活動</p>																																						
取組実績	<p>1 ハイスクールカウンセラーの配置 市立高等学校2校に配置</p> <p>2 生徒・保護者・教職員の要望に応じたカウンセリングの実施 1日6時間、年間30日の勤務を原則とし、月平均2～3日の勤務体制でカウンセリングを実施した。</p> <p>3 カウンセリング講座等の支援活動 (1) 教職員・生徒を対象としたカウンセリングに関する講座の実施（2回） (2) 教育相談情報交換会・ケース会議（6回）の実施</p>																																						
成果	<p>生徒の不安や悩みの状況に応じたカウンセリングが実施されており、生徒の心の安定を図る上で効果的に機能している。また、カウンセラーと教職員との情報交換やケース会議等を通じて、学校内で連携が取られ、心の問題を抱える生徒に対して適時な対応を行うことができた。特に支援が必要な生徒については、カウンセラー・教育相談係・養護教諭・担任等との連携により、本人及び保護者に対するアドバイス等を行うことで成果が上がっている。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>主な指標項目</td> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>244件</td> <td>245件</td> <td>292件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>342人</td> <td>314人</td> <td>358人</td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>H24相談人数内訳</td> <td>生徒</td> <td>教職員</td> <td>保護者</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>女子高校</td> <td>87人</td> <td>74人</td> <td>7人</td> <td>168人</td> </tr> <tr> <td>女子商業高校</td> <td>58人</td> <td>125人</td> <td>7人</td> <td>190人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>145人</td> <td>199人</td> <td>14人</td> <td>358人</td> </tr> </table> <p>※ 生徒の相談内容は、多い順に、「家族関係」、「学校生活」、「人間関係・友人関係」である。 ※ 教職員の相談件数は、「情報交換」が127件、「生徒の対応」が5件、「その他」が1件、合計133件である。 ※ 「震災関係」の相談件数は、生徒が2件である。</p>							主な指標項目	H22	H23	H24	相談件数	244件	245件	292件	相談人数	342人	314人	358人	H24相談人数内訳	生徒	教職員	保護者	計	女子高校	87人	74人	7人	168人	女子商業高校	58人	125人	7人	190人	計	145人	199人	14人	358人
主な指標項目	H22	H23	H24																																				
相談件数	244件	245件	292件																																				
相談人数	342人	314人	358人																																				
H24相談人数内訳	生徒	教職員	保護者	計																																			
女子高校	87人	74人	7人	168人																																			
女子商業高校	58人	125人	7人	190人																																			
計	145人	199人	14人	358人																																			
成果に係る評価	<p>多感な時期にある高校生は心にかかえる悩みも多く、カウンセリングによって支えられる部分も大きい。生徒の心を安定させ、落ち着いた学校生活を送らせるためには、カウンセラーによる相談体制を維持することが重要である。特に、震災後3年目に生徒の問題行動がピークとなるとされており、ハイスクールカウンセラー配置事業の効果は大きく、今後も継続が必要である。</p>																																						
(単位：円)																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
	1,889,000	1,846,700			1,846,700																																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	復興計画	()	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																				
	1 項	教育総務費		第 1 節		()	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																				
	3 目	教育指導奨励費		(2)		()	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ																				
実施計画掲載ページ	P21		小 事業	いじめ・生徒指導問題対策費																							
事業コード	02010216		事業名	いじめ・生徒指導問題対策事業																							
目的及び事業内容	<p>いじめや不登校、その他の生徒指導に関する問題に組織的に対応するため、関係機関等との連携を推進するほか、教員や保護者対象の研修を通して「いじめを許さない風土づくり」を進め、いじめの未然防止及び早期解決を図る。</p> <p>1 いじめ生徒指導問題対策委員会の実施 2 いじめの防止や解決にかかる研修会の実施 3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布 4 「Stopいじめ！石巻市子どもサミット」の実施</p>																										
取組実績	<p>1 いじめ・生徒指導問題対策委員会の実施 市内の生徒指導上の諸問題について、19名の委員が3回の情報交換を行ったほか、有効な連携の在り方について協議した。</p> <p>2 いじめ・生徒指導問題対策にかかる研修会の実施 (1) 生徒指導上の課題である不登校問題に対応するため、市内教職員・保護者を対象に講演会を実施した。 (2) 不登校児童生徒の増加に伴い、小・中学校の生徒指導担当者・養護教諭等を対象にして、市内の実態把握に努めるとともに、事例をもとに話し合いを行い、関係機関担当者から助言等受けることにより、各校での不登校対策の取り組みに活かすための研修会を3回実施した。</p> <p>3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布 いじめ防止標語（小・中・高）、いじめ防止メッセージ（中・高）を募集し、メッセージ集を作成して各学校や関係機関に配布し、意識啓発に努めた。</p> <p>4 「Stopいじめ！石巻市子どもサミット」は、市内全中学校の代表が参加し、いじめの防止について話し合いを行った。</p>																										
成果	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>区 分</td> <td>いじめの件数</td> <td>解消件数</td> <td>解消率</td> </tr> <tr> <td>小 学 校</td> <td>57件</td> <td>42件</td> <td>74%</td> </tr> <tr> <td>中 学 校</td> <td>37件</td> <td>37件</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>高 校</td> <td>4件</td> <td>4件</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>98件</td> <td>83件</td> <td>84%</td> </tr> </table> <p>※上記は文部科学省実施の平成24年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査による。</p>							区 分	いじめの件数	解消件数	解消率	小 学 校	57件	42件	74%	中 学 校	37件	37件	100%	高 校	4件	4件	100%	計	98件	83件	84%
区 分	いじめの件数	解消件数	解消率																								
小 学 校	57件	42件	74%																								
中 学 校	37件	37件	100%																								
高 校	4件	4件	100%																								
計	98件	83件	84%																								
成果に係る評価	<p>いじめの認知件数については、滋賀県大津市のいじめ事件以来、文部科学省の調査等の通知により、各学校から計上されてくる件数も大きく増加した。いじめ件数の増加については、定期的に調査を行うなど、各学校がこれまで以上に、いじめの把握に力を注いだ結果だと認識している。これまで見過ごしていたとはいかないまでも、目の届かなかった部分にも行き届くようになったものと認識している。いじめの解消率は、小学校で約74%、中学校及び高等学校においては100%となっている。いじめ発覚後、一丸となって解決に向けて努力した様子が伺える。今後は、いじめの件数を減らすことはもちろんのこと、起きたときの対応として、学校をあげてその解決、解消に努める必要がある。日ごろの道徳の授業をベースに、道徳教育の充実に全力で取り組むよう各学校に働き掛ける。また、これまで以上に教員のもつアンテナを高くしながら、子どもたちの様子等を把握していく必要がある。</p>																										
(単位：円)																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	739,000	405,313				405,313																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	教育総務費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()	
	3 目	教育指導奨励費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P29	小 事 業	外国青年英語指導費				
事業コード		02030108	事 業 名	国際理解教育推進事業				
目的及び事業内容		幼稚園、小中学校及び高等学校における A L T (外国語指導助手) を活用しての授業や交流を通して外国語教育と国際理解教育の充実を図る。 1 市立中学校・高等学校における外国語教育の充実 2 市立小学校における外国語活動の充実 3 市立幼稚園・けやき教室における国際理解教育の推進						
取組実績		1 A L T 10 名を市立中学校・高等学校に配置し、外国語学習指導と国際理解教育活動の充実を図った。 2 市立幼稚園・小学校・けやき教室を訪問し、外国語活動や国際理解教育の充実を図った。						
成 果		A L T を中学校、高等学校を中心に小学校・幼稚園・けやき教室にも配置し、外国語活動や外国語教育、国際理解教育を推進することができた。また、前年度より割合は低下したものの、引き続き概ね高い水準で授業を「楽しい」と感じる生徒の割合を維持できており、外国語学習に対するモチベーションを高めることに大いに貢献している。						
		主な指標項目		H22	H23	H24		
		A L T との授業が楽しいと感じる生徒の割合 (中学 1 ・ 2 年生)		82. 0%	85. 0%	79. 0%		
成果に係る評価		平成 23 年度から小学校で外国語活動が完全実施され、A L T と担任が協力して外国語活動の授業の充実を努めている。小学校においては、A L T との授業が楽しいと感じる児童の割合は 86. 3% である。中学校においても、1 年生については、81. 9% と 80% を超えているが、学力差が顕著になってくる 2 年生においては、74. 9% で英語という教科そのものに対する苦手意識が、数値に表れ、他の学年に比べ低い値になっている。学校によっても差が見られるので、A L T の指導力を含め今後の改善について考えたい。また、今後も A L T を J E T (外国青年招致事業による任用) から N o n - J E T (民間事業者への業務委託) に段階的に切り替えていく予定であるが、実施に当たっては、その効果を比較検証したうえで取り組んでいくこととしたい。						
(単位 : 円)								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国 (県) 支出金	地方債	その他	一般財源	
		44, 725, 317	44, 272, 486				44, 272, 486	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P21	小 事 業	石巻・子どもの未来づくり事業費				
事業コード		02010217	事 業 名	石巻・子どもの未来づくり事業				
目的及び事業内容		石巻市立小・中学校長会と連携し、児童生徒の学力の向上及び未来を生き抜く志の育成を図る。 1 子どもの未来づくり推進委員会の設置 「教員の指導力の向上」、「児童生徒の学習習慣の形成」、「小中連携による一貫した教育の充実」の具体的方策について検討し、事業を行う。 2 小・中学校校長会との連携 支会校長会ごとに本事業の目的達成のための計画を立て実践する。 3 子どもの未来づくり推進地区連絡協議会の設置 各地区の取り組み内容について情報交換し、より効果的な方策を検討する。						
取組実績		1 子どもの未来づくり推進委員会の設置取組 (1) 学力調査結果の分析等に基づき、学校と家庭との連携や家庭学習習慣形成の在り方等について検討し、中学校区ごとに家庭学習の進め方について、リーフレットを作成し働きかけた。 (2) 子どもの未来づくりフォーラムを 2 回実施し、児童生徒、保護者、教員がともに話し合い、意識を高めた。 (3) 家庭学習・生活習慣リーフレットの内容及び活用状況を検証し、内容を改善していくことを確認した。 (4) 子どもの未来づくり推進地区・実践校の取組状況や成果をまとめ、「事業報告書、実践事例集」にまとめ、活用を図った。 (5) 志を強く持って生き抜くための具体的な実践として、小中学校が連携して弁論大会や体験活動の交流会等を実施した。 2 小・中学校との連携及び子どもの未来づくり推進地区の取組 (1) 学力向上のため、学校と家庭との連携や家庭学習習慣形成等の実践研究を実施した。 (2) 地区内での情報共有や共同実践について話し合い、講演会や研修会を実施した。 (3) 実践成果発表会において、各地区の取組について発表し、情報を共有した。						
成 果		1 小学校と中学校が合同で研修会や授業研究会を実施し、小・中連携の推進が図られた。 2 事業実施手法等の工夫により、より専門性の高い講師による研修会を実施する地区が増え、研修の充実を図ることができた。 3 各推進地区で作成した家庭学習カードの活用を通して、学校と家庭が連携する必要性について啓発が図られた。 4 被災によって連携事業が困難となった学校が多かったが、それぞれ工夫して校区にとらわれない連携を行った。						
成果に係る評価		各地区の事業報告から推察すると、教職員の教科指導力の向上や小・中連携の推進については一定の成果があると思われるが、生活習慣や家庭学習習慣の形成については、被災前の状況に早く戻すことを第一に考え、家庭との連携の在り方を工夫しながら取り組みを継続していく必要がある。また、家庭学習の手引きなど、作成したものをさらに有効に活用することや、小・中学校での 9 年間を見通した教育実践を進めていく必要がある。						
(単位 : 円)								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国 (県) 支出金	地方債	その他	一般財源	
		3, 619, 000	3, 004, 475				3, 004, 475	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P21	小 事 業	適応指導教室運営費				
事業コード		02010215	事 業 名	適応指導教室運営事業				
目的及び事業内容		不登校児童生徒個々の実態等に応じた生徒指導、学習指導、適応指導を行い、自立を促しながら学校への復帰を図る。 1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携 2 児童生徒の実態等に応じた学習指導 3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実						
取 組 実 績		1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携 通所児童生徒や保護者との定期的教育相談や懇談会を行ったほか、機会を捉えての相談等も行って悩み等に受容的に対応した。 2 児童生徒の実態等に応じた学習指導 (1) 通所児童生徒一人ひとりの実態や学年を踏まえ、適切な教材を準備し、個に応じた指導・支援を行った。 (2) 在籍校との連携を深め、学級担任との連絡を密に行ったほか、適応指導教室での定期考査受験や学校で使用しているプリントでの学習などにより、帰属感の育成を図った。 3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実 絵手紙教室、英会話教室、書道教室、調理実習、清掃活動や仲間づくり活動等の体験活動を通して、仲間とともに活動する楽しさや達成感の醸成が図られた。						
成 果		教育相談活動や学習活動、体験活動の充実、保護者や学校との連携強化により、児童生徒の再登校への意欲を高め、一定の成果をあげている。 しかし、適応指導教室通所児童生徒の状況は個々によって多様であり、再登校に向けての糸口を見つけることは難しくなっている。						
		主な指標項目		H22	H23	H24		
		不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数		78件	77件	93件		
		通所児童生徒の再登校率		18.1%	18.1%	25.0%		
		通所児童生徒の部分登校率(再登校者を含む)		81.8%	54.5%	62.5%		
成果に係る評価		平成24年度の不登校児童生徒は小・中合わせて216人となり、昨年度とほぼ同数である。各学校で改善の努力はしているが、指導が困難な事例も多く、不登校児童生徒の減少には至っていないことから、専門的な対策チームを構成して本人や家庭に積極的に働きかける必要がある。 そのため、適応指導教室を基盤とし、市民相談センター相談員、不登校対応相談員、スクールソーシャルワーカー、青少年育成員、いじめ・生徒指導問題対策委員会委員、民生委員・児童委員協議会委員らをメンバーとする市立小・中学校不登校児童生徒対応協議会を設置し、対策に当たっていくとともに、不登校傾向の児童生徒及びその保護者への調査を行い、原因の解明及び対応策の確立を目指す。						
(単位：円)								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
		4,452,000	4,419,513			341,000	4,078,513	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	1 項	教育総務費		第 節			()	
	3 目	教育指導奨励費		()			()	
実施計画掲載ページ			小 事 業	学び支援コーディネーター等配置事業費				
事業コード			事 業 名	学び支援コーディネーター等配置事業				
目的及び事業内容		東日本大震災により、地域コミュニティの崩壊や仮設住宅居住など住環境が変化し、教育環境、特に家庭学習の習慣形成が困難な状態になったため、学び支援コーディネーター等の配置を行い、児童生徒に基礎基本を確実に定着させ、学力の全体的な底上げを図るもの。 1 地域に必要な学習の場をコーディネートする「学び支援コーディネーター」の配置 2 児童生徒の学習支援や保護者の学習相談等に携わる「学び相談員」の配置 3 児童生徒の学習支援に携わる「学び支援員」の配置 4 長期休業中と平日の放課後の学習支援のために学習の場・機会の提供						
取 組 実 績		1 「夏休み学び教室」の開催 【会場：宮城県石巻工業高等学校】 ①開催日時 平成24年8月6日～10日 小学生：9:30～12:00 中学生：13:00～15:30 ②参加対象 保護者が参加を承諾した石巻市立小中学校に在籍する児童生徒 小学3年生～中学3年生 ③内 容 ・自分で教材を持参し、課題を決めて自主学習を行った。 ・学び支援員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。 ・児童生徒、保護者の希望者に学習相談を行った。 2 「放課後学び教室」の開催 【会場：市内各小中学校の教室等】 ①開催日時 平成24年9月下旬～平成25年2月末 15:00～17:00 ※学校の実情に応じて計画を立てて学習支援を実施した。 ②参加対象 保護者が参加を承諾した石巻市立小中学校に在籍する児童生徒 小学3年生～中学3年生 ③内 容 ・自分で教材を持参し、課題を決めて自主学習を行った。 ・学び相談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。						
成 果		○仮設住宅等で家庭学習が思うようにできないという児童生徒や保護者の思いに応えることができた。 <夏休み学び教室> 実施回数： 10回(小学生 5回、中学生 5回) 参加者数： 958名(小学生 684名、中学生 274名) <放課後学び教室> 実施回数： 467回(小学生 226回、中学生 241回) 参加者数：7,097名(小学生 3,756名、中学生 3,341名) ○夏休み学び教室では、参加児童生徒の多くから「家庭で勉強するよりも集中して取り組み、宿題を終らせることができるともよかった」という声を聞くことができた。 ○家庭学習が十分にできなかった児童生徒も、放課後学び教室に参加することで学習習慣が身に付き、学習への自信と意欲を持つようになってきている。 ○小学校の学び教室では、個別に指導を要する児童への時間が確保でき、学級担任と連携することで学習指導の充実を図ることができた。						
成果に係る評価		新規事業としては目的が達成でき、大きな成果があったが、次の4点については改善の必要がある。 1 学び相談員・支援員の人員確保が十分にできなかったため、市報を活用するなど募集方法の改善を図る。 2 夏季休業中の学び教室は好評だったが、旧町からは通いづらいので各小中学校を会場とした学び教室の実施も検討していく。 3 今年度の放課後学び教室は、中学校では主に3年生を対象に実施してきたが、1・2年生の参加にも対応できるような条件整備を行っていく必要がある。 4 次年度は、各小中学校を会場とした放課後学び教室を早い時期から実施する。						
(単位：円)								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
		3,216,000	2,910,566	2,910,566				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P20	小 事業	特別支援教育事業費（緊急総合経済対策分）				
事業コード		02010208	事業名	特別支援教育支援員配置事業〔住民生活〕				
目的及び事業内容		<p>通常学級に在籍している発達障害を持つ児童の日常生活支援及び学習指導補助を行うため、学校に支援員を配置する。</p> <p>1 小中学校への支援員の配置 2 当該児童への支援の工夫</p>						
取組実績		<p>1 支援員の配置状況 市内小・中学校 29校に配置 石巻小、住吉小、門脇小、湊小、湊第二小、釜小、山下小、蛇田小、渡波小、稲井小、向陽小、貞山小、開北小、万石浦小、大街道小、中里小、鹿妻小、飯野川第一小、大谷地小、広瀬小、須江小、北村小、前谷地小、和瀬小、鹿又小、中津山第二小、相川小、大原小、蛇田中</p> <p>2 通常学級における当該児童への支援 通常学級に在籍する、知的障害、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、高機能自閉症、選択的緘黙、ダウン症等の子どもたちへの学習・生活支援をするなどし、担任教員の指導補助を行った。各学校では、学級や個人への支援のあり方について研修するなどして、支援員の活用を工夫した。</p> <p>3 特別支援教育支援員研修会の実施 支援員を対象に、宮城県特別支援教育センターから講師を招聘し、「発達障害のある子とのかかわり方」について研修会を開催した。また、分科会に分かれて、日常支援の様子等について情報交換をした。</p>						
成果		<p>特別な支援を必要とする子どもの実情等に応じた学習・生活指導についての充実が図られた。また、支援対象児童の保護者や教職員から、「支援が充実したことで安心できる、感謝している」という声が多く寄せられている。</p> <p>また、研修会を実施したことで、支援員としてのスキルの向上を図るとともに、各学校に配置された支援員との情報交換をすることができ、支援員にとっては有意義なものであった。</p>						
成果に係る評価		<p>特別支援教育は、これまでの特殊教育の障害だけでなく、通常学級における特別な支援の充実が求められていることから、特別支援教育支援員の存在は、障害をもつ児童生徒への支援や学級への学習指導等の充実につながるなど、大きな成果をあげている。学校や保護者からは、事業拡充を望む声が非常に大きく、今後、支援員の配置人数の拡充が必要である。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	38,841,600	38,801,136			38,801,136			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()													
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()													
	3 目	教育指導奨励費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()													
実施計画掲載ページ		P23	小 事業	定住外国人就学支援事業費（緊急総合経済対策分）																
事業コード		02010222	事業名	定住外国人就学支援事業〔住民生活〕																
目的及び事業内容		<p>石巻市に転入し、就学を希望する外国籍の児童生徒を円滑に市立小中学校に受け入れするため、外国語を話せる就学支援員を必要とする学校に配置し、当該児童生徒の通訳及び言語習得や学校生活等のサポートをする。</p>																		
取組実績		<p>支援を要する外国籍の児童生徒に対し、意志疎通が図れる外国人支援員（パート職員）を配置し、学校での通訳や簡単な日本語指導により、当該児童生徒の学習及び日常生活の支援を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> <tr> <td>支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）</td> <td>9人（8校）</td> <td>7人（7校）</td> <td>6人（6校）</td> </tr> <tr> <td>配置した支援員数</td> <td>8人</td> <td>7人</td> <td>6人</td> </tr> </table> <p>主な支援母国語は、韓国、フィリピン、タガログ、英語など</p>							主な指標項目	H22	H23	H24	支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）	9人（8校）	7人（7校）	6人（6校）	配置した支援員数	8人	7人	6人
主な指標項目	H22	H23	H24																	
支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）	9人（8校）	7人（7校）	6人（6校）																	
配置した支援員数	8人	7人	6人																	
成果		<p>平成24年度は、小中学校6校で6人に対し支援員6人を配置し、学校生活におけるコミュニケーションの手伝いや簡単な日本語指導をすることで、当該児童生徒及びその家族の不安を取り除くことができた。また、併せて当該学校や担当教師の支援の役割も担った。</p>																		
成果に係る評価		<p>必要とする小中学校に支援員を配置し、支援をすることができた。しかし、中には学校における問題とは別に様々な家庭事情により、突然、母国に帰国するケースもある。</p> <p>例年、数件の外国籍児童生徒の転入があることから、今後も継続して事業を実施する必要がある。</p>																		
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	1,873,400	1,873,400			1,873,400															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のための伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	1 項	教育総務費		第 節		(1)	未来の人を育てる
	7 目	東日本大震災関係費		()		(3)	子どものケアの実施
実施計画掲載ページ	P 183		小 事 業	防災教育充実事業費（東日本大震災関係分）			
事業コード	40-103-002-284		事 業 名	防災教育充実事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容	<p>地域ぐるみの防災教育の実践を通して、非常時においても地域との絆が生かされる基盤を形成し、子どもにとって安心、安全な地域環境づくりを進めるとともに、教材等の作成を通して、児童生徒が災害と向き合い、たくましく生きる災害対応能力の育成を促進する。</p> <p>1 地域ぐるみの防災教育の推進 2 児童生徒の災害対応能力の育成のための学校教材等の作成</p>						
取 組 実 績	<p>1 学校防災推進会議の設置と協議 学校、関係機関、市担当部局、学識経験者による学校防災推進会議を設置し、東日本大震災における学校防災の検証と、これからの在り方について協議を行った。協議結果を基に各機関において今後の学校や地域の連携及び関係機関の協力について検討し、実践を図ることとした。</p> <p>2 防災教育副読本の発行 本市の実態に即した防災教育推進のための、防災教育副読本を作成することとし、防災教育副読本編集委員会を設置した。発達段階に応じた防災教育が実践できるよう、平成24年度第1学期に、小学校下学年、小学校上学年、中学校用の上巻を発行することとし、編集作業を行った。2学期には同じく下巻を発行することとし、編集作業を行うとともに、年間指導計画例を作成した。</p>						
成 果	<p>学校防災について、関係者が一堂に会して、これまでの課題や今後の取組について話し合うことにより、協働して学校防災の充実に取り組む態勢づくりを進めることができた。各学校においては、学校や地域の実情を踏まえ、学校防災のための地域との連絡会議を開催したり、従来から実施している避難訓練において、高台避難を想定した第三次避難を新たに加えたりするなどの取組を行っている。</p> <p>また、防災教育副読本の上巻を平成24年度第1学期に、下巻を第3学期に発行するとともに、年間指導計画案を作成し、各校での活用を促した。また3月には平成25年度版として、上下巻を合本したものを作成し、配布した。</p>						
成果に係る評価	<p>学校防災推進会議等により、学校と地域の合同避難訓練の実施等を働きかけ、学校と地域の連携による学校防災の一層の充実を図る必要があるほか、防災教育副読本を活用して、児童生徒の防災対応能力の育成を図る必要がある。</p> <p>また、今後は防災教育副読本の指導事例集を作成することにより、より効果的かつ計画的な活用を促していく。</p>						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	2,779,480	2,582,860	1,660,929		921,931		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる													
	1 項	教育総務費		第 節		(1)	未来の人を育てる													
	7 目	東日本大震災関係費		()		(3)	子どものケアの実施													
実施計画掲載ページ	P 182		小 事 業	スクールカウンセラー配置事業費																
事業コード	40-103-002-281		事 業 名	スクールカウンセラー配置事業〔復興基金〕																
目的及び事業内容	<p>カウンセラーの相談活動により、生徒・保護者・教職員の心理面における安定を図るとともに、生徒の健全育成に資する。</p> <p>1 スクールカウンセラーの配置 2 生徒・保護者・教職員・学区内小学生等の要望に応じたカウンセリングの実施 3 カウンセラーを活用してのカウンセリング研修等の実施</p>																			
取 組 実 績	<p>1 スクールカウンセラーの配置 中学校全21校に配置（中学校カウンセラー及び広域スクールカウンセラー） 小学校にも28校に配置（広域スクールカウンセラー）</p> <p>2 カウンセリングの実施状況 (1) 中学校 年間35日、小学校 年間1～35日 (2) 1日のカウンセリング実施時間（県で決定） 6時間</p> <p>3 カウンセリング研修等の実施 各学校で研修日を設定して実施 （内容）カウンセリング実技研修、カウンセリング理論、エンカウンター実習など</p>																			
成 果	<p>多くの学校にスクールカウンセラーが配置されたことにより、スクールカウンセラーに相談できる体制が整備されつつある。それが相談件数の増加につながっており、震災後の心のケアも含め、学校や家族の問題等の解決の一助としての役割を担っている。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>主な指標項目</td> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td rowspan="3">H24相談人数割合</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>3,514件</td> <td>3,631件</td> <td>5,420件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>3,972人</td> <td>4,094人</td> <td>5,984人</td> </tr> </table>							主な指標項目	H22	H23	H24	H24相談人数割合	相談件数	3,514件	3,631件	5,420件	相談人数	3,972人	4,094人	5,984人
主な指標項目	H22	H23	H24	H24相談人数割合																
相談件数	3,514件	3,631件	5,420件																	
相談人数	3,972人	4,094人	5,984人																	
成果に係る評価	<p>相談の件数、人数とも増加の傾向である。より多くの学校に配置できたことが成果につながっていると思われる。配置校の児童・生徒・保護者・教職員からの相談に対応することが、積極的な生徒指導につながっていく一面もあり、今後も継続的な配置が必要である。また、震災後の心のケアの面からも、引き続きカウンセラーによる相談体制の充実を図っていくことが重要である。</p>																			
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	573,000	352,852			352,852															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																																
	1 項	教育総務費		第 節		(1)	未来の人を育てる																																																
	7 目	東日本大震災関係費		()		(3)	子どものケアの実施																																																
実施計画掲載ページ	P182		小 事 業	スクールソーシャルワーカー配置事業費																																																			
事業コード	40-103-002-281		事 業 名	スクールソーシャルワーカー配置事業																																																			
目的及び事業内容	<p>小中学校における相談体制や関係機関との連携体制の充実を図り、不登校対応を中心に、暴力行為、児童虐待などの問題行動の早期対応や早期解決を図る。</p> <p>1 問題を抱える児童生徒が置かれた環境（家庭や学校等）に対して面談などの働き掛けを行う。 2 児童相談所などの関係諸機関とのネットワークの構築と連携や調整に努める。 3 市内小中学校における校内での支援体制やチーム体制の整備の支援を行う。 4 市内小中学校の教職員・保護者への相談や研修会等での啓発活動・情報提供に努める。</p>																																																						
取 組 実 績	<p>スクールソーシャルワーカーについて</p> <p>1 スクールソーシャルワーカーは4名が配置されており、児童生徒や家庭の状況を踏まえ、ケースごとに児童相談所や市民相談センターなどの関係機関と連携して対応している。 また、震災後の児童生徒のケアについても、学校に配置されているスクールカウンセラーと連携することはもとより、児童精神科医とも連携しており、専門的な見地から適切な対応がなされるよう働き掛けている。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">○配置状況(平成25年3月末現在)</td> <td colspan="2">4名配置</td> </tr> <tr> <td>拠点校</td> <td>勤務時間、日数</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>門脇小・大川小</td> <td>1日 6時間、週3日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>向陽小・青葉中</td> <td>1日 6時間、週2日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>稲井中</td> <td>1日 6時間、週2日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>石巻市教育委員会</td> <td>1日 6時間、週1日</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>2 訪問活動：学校205回、家庭320回 ケース会：15件53回 教職員との連携：130件 連携した機関：児童相談所30件、医療機関39件（学校の要請に応じて対応している。）</p>							○配置状況(平成25年3月末現在)		4名配置		拠点校	勤務時間、日数			門脇小・大川小	1日 6時間、週3日			向陽小・青葉中	1日 6時間、週2日			稲井中	1日 6時間、週2日			石巻市教育委員会	1日 6時間、週1日																										
○配置状況(平成25年3月末現在)		4名配置																																																					
拠点校	勤務時間、日数																																																						
門脇小・大川小	1日 6時間、週3日																																																						
向陽小・青葉中	1日 6時間、週2日																																																						
稲井中	1日 6時間、週2日																																																						
石巻市教育委員会	1日 6時間、週1日																																																						
成 果	<p>1 スクールソーシャルワーカーの仕事内容が学校及び関係機関に理解され、連携がスムーズになった。 2 問題を抱える児童生徒の家庭訪問等を行い、少しずつ登校できるようになった。 3 震災の影響で子どもに目を向ける余裕のない保護者の話をじっくり聞くことにより、気持ちの余裕が出てきた。 4 教員に対してコンサルテーションを行うことにより、教員の悩みを共有することができた。 5 スクールソーシャルワーカーを4名配置することにより、これまでできなかった様々なケースにも対応できた。</p> <p>○支援対象児童生徒数</p> <table border="1"> <tr> <td>主な指標項目</td> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>14人</td> <td>23人</td> <td>68人</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>6人</td> <td>21人</td> <td>91人</td> </tr> </table> <p>○相談内容</p> <table border="1"> <tr> <td>相談内容</td> <td>件数</td> <td>問題が解決</td> <td>支援中で好転</td> <td>支援中</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>不登校</td> <td>60件</td> <td>6件</td> <td>28件</td> <td>20件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>暴力、非行・不良行為</td> <td>25件</td> <td>6件</td> <td>10件</td> <td>3件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>児童虐待</td> <td>12件</td> <td>7件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>家庭環境の問題</td> <td>31件</td> <td>4件</td> <td>12件</td> <td>12件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7件</td> <td>3件</td> <td>4件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </table>							主な指標項目	H22	H23	H24	小学生	14人	23人	68人	中学生	6人	21人	91人	相談内容	件数	問題が解決	支援中で好転	支援中	その他	不登校	60件	6件	28件	20件	6件	暴力、非行・不良行為	25件	6件	10件	3件	6件	児童虐待	12件	7件	2件	2件	1件	家庭環境の問題	31件	4件	12件	12件	3件	その他	7件	3件	4件	0件	0件
主な指標項目	H22	H23	H24																																																				
小学生	14人	23人	68人																																																				
中学生	6人	21人	91人																																																				
相談内容	件数	問題が解決	支援中で好転	支援中	その他																																																		
不登校	60件	6件	28件	20件	6件																																																		
暴力、非行・不良行為	25件	6件	10件	3件	6件																																																		
児童虐待	12件	7件	2件	2件	1件																																																		
家庭環境の問題	31件	4件	12件	12件	3件																																																		
その他	7件	3件	4件	0件	0件																																																		
成果に係る評価	<p>不登校、暴力行為をはじめとする問題行動等や家庭環境に起因する様々な問題、また、震災後の心のケアに資する問題等、スクールソーシャルワーカーが対応する問題は多岐にわたる。学校だけでは解決できない問題をスクールソーシャルワーカーが介入することによって、児童生徒、保護者、教職員それぞれが助けられている。スクールソーシャルワーカーの活動が理解され、学校と一体となって問題に対応するようになってきている。</p>																																																						
予算の執行状況	(単位：円)																																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																	
	8,371,000	7,776,262	7,776,262																																																				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す															
	1 項	教育総務費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保															
	7 目	東日本大震災関係費		()		(1)	被災者への生活支援															
実施計画掲載ページ	P128		小 事 業	震災奨学金給付事業費																		
事業コード	20-101-001-081		事 業 名	震災奨学金給付事業																		
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により親が死亡又は行方不明となり、父母のない児童生徒に対して震災奨学金を給付することにより、安定した修学の機会を提供し、もって有能な人材を育成する。</p> <p>(1)対象者 震災当時石巻市内に住所を有していた親が、震災により死亡又は行方不明となり、両親がいなくなった小・中・高校生。未就学児においては、小学校へ入学後、給付開始とする。 (2)給付額：月額（年額） 小学校等に在学する者 10,000円（120,000円）、中学校等に在学する者 20,000円（240,000円） 高等学校等に在学する者 30,000円（360,000円） (3)給付の期間 対象者が高等学校等を卒業するまで給付する。ただし、学校教育法に規定する修業年限内とする。</p>																					
取 組 実 績	<p>1 対象者への制度の周知 市立小学校、中学校及び管内の高校あてに、対象となると思われる児童生徒への制度について周知いただくよう依頼した。この際、震災時は石巻に住んでいたが、現在は市外にいる児童生徒に対しても周知を依頼した。児童相談所からの震災孤児リストと照合し、未申請の対象者について個別に連絡し申請を促した。</p> <p>2 申請の受領及び給付 申請を受領し、書類により対象となることが判断でき次第、震災奨学生として採用をし、奨学金を給付した。</p>																					
成 果	<p>平成24年度は小学生13名、中学生10名、高校生14名の計37名の震災孤児に奨学金を給付した。</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>人数</td> <td>給付額</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>13</td> <td>1,560,000 円</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>10</td> <td>2,400,000 円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>14</td> <td>5,040,000 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>37</td> <td>9,000,000 円</td> </tr> </table>							区分	人数	給付額	小学生	13	1,560,000 円	中学生	10	2,400,000 円	高校生	14	5,040,000 円	合計	37	9,000,000 円
区分	人数	給付額																				
小学生	13	1,560,000 円																				
中学生	10	2,400,000 円																				
高校生	14	5,040,000 円																				
合計	37	9,000,000 円																				
成果に係る評価	<p>児童相談所からの震災孤児リストとの照合などにより、全対象者へ本制度の周知を図ることができた。その結果、37名の震災孤児に対し、奨学金を給付することにより就学の支援をすることができた。</p>																					
予算の執行状況	(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	9,840,000	9,000,000			9,000,000																	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	2 項	小学校費		第 節		(1)	未来の人を育てる
	1 3 目	学校管理費 学校建設費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ	P167		小 事 業	蛇田小学校耐震補強事業費 ほか6事業			
事業コード	40-101-001-227		事 業 名	学校施設耐震補強事業（小学校）			
目的及び事業内容	児童の安全確保を最優先とし、H16～H19年度に実施した耐震診断の結果を踏まえ大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性があるとされるIS値0.7未満の施設を、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき耐震補強工事を実施する。						
取組実績	1 耐震補強工事実施校 (1) 蛇田小学校校舎 (2) 釜小学校屋内運動場 (3) 須江小学校屋内運動場 2 改築事業 (1) 石巻小学校屋内運動場設計業務委託等						
成 果	耐震補強工事を実施した事により、児童が安心して安全に学習できる環境が拡大した。また、学校施設は災害発生時の避難場所として重要な役割を担っているが、本事業により地域住民に安心と安全を提供する事ができた。						
成果に係る評価	学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、また、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用する公共施設及び災害発生時の避難場所として重要な役割を担っている。 今回、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に実施したことで、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心の確保に寄与した。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	173,061,900	100,400,779	33,434,000	47,700,000		19,266,779	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	復興計画	()																																					
	2 項	小学校費		第 1 節		「生きる力」を持つ子どもたちを育成する	()																																				
	1 目	学校管理費		(3)		充実した教育を行える環境をつくる	()																																				
実施計画掲載ページ	P23		小 事 業	小学校管理費（教育総務課）																																							
事業コード	02010302		事 業 名	遠距離通学支援事業（小学校）																																							
目的及び事業内容	市立小学校の統廃合等により遠距離通学の対象となる児童に対し、公共交通機関やスクールバスの活用を促すことにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。 ・スクールバス等の運行 ・遠距離通学費補助金の交付																																										
取組実績	遠距離通学の対象児童に係るスクールバスを運行するとともに、公共交通機関を利用する遠距離通学児童の保護者には交通費の補助を行った。 1 スクールバス等の運行 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス</td> <td>H23</td> <td>10校</td> <td>334人</td> <td>40,009,346 円</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>10校</td> <td>270人</td> <td>40,885,603 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">スクールボート (鮎川小学校)</td> <td>H23</td> <td>1校</td> <td>1人</td> <td>642,518 円</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>- 円</td> </tr> </tbody> </table> ※スクールバス対象校（H24） 稲井小学校、東浜小学校、二俣小学校、大川小学校、雄勝小学校 船越小学校、大須小学校、中津山第一小学校、桃生小学校、大原小学校 2 遠距離通学費補助金 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">遠距離通学費補助金</td> <td>H23</td> <td>4校</td> <td>80人</td> <td>2,294,960 円</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>4校</td> <td>68人</td> <td>2,016,320 円</td> </tr> </tbody> </table> ※遠距離通学費補助金対象校（H24） 荻浜小学校、万石浦小学校、大谷地小学校、二俣小学校						区分	年度	学校数	対象人数	金額	スクールバス	H23	10校	334人	40,009,346 円	H24	10校	270人	40,885,603 円	スクールボート (鮎川小学校)	H23	1校	1人	642,518 円	H24	-	-	- 円	区分	年度	学校数	対象人数	金額	遠距離通学費補助金	H23	4校	80人	2,294,960 円	H24	4校	68人	2,016,320 円
区分	年度	学校数	対象人数	金額																																							
スクールバス	H23	10校	334人	40,009,346 円																																							
	H24	10校	270人	40,885,603 円																																							
スクールボート (鮎川小学校)	H23	1校	1人	642,518 円																																							
	H24	-	-	- 円																																							
区分	年度	学校数	対象人数	金額																																							
遠距離通学費補助金	H23	4校	80人	2,294,960 円																																							
	H24	4校	68人	2,016,320 円																																							
成 果	スクールバス等の運行や公共交通機関の利用を促すことで、学校統廃合などにより遠距離通学となった児童に係る、登下校中の安全・安心の確保が図られた。																																										
成果に係る評価	遠距離通学児童の安全・安心を図るため継続が求められる事業であることから、地域の実情に配慮しながら引き続き適正な運行を実施していく必要がある。																																										
(単位：円)																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
	45,590,000	42,901,923	8,421,877			34,480,046																																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	2 項	小学校費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()	
	1 目	学校管理費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P30	小 事 業	小学校管理費（学校教育課）				
事業コード		02030110	事 業 名	小学校外国語活動補助員活用事業				
目的及び事業内容		小学校学習指導要領の改訂により、小学校第5学年及び第6学年に外国語活動が新設され、平成23年度から全面実施されたことにより、小学校に外国語活動指導補助員を配置し、外国語活動の充実を図るとともに、課題等の整理及び検証を行う。						
取組実績		小学校外国語活動指導補助員による外国語活動の授業実践 補助員8名を希望のあった33校に配置し、1クラス当たり年間25時間の外国語活動の補助を行った。なお、年間35時間の外国語活動が義務づけられているが、残りの10時間は、外国青年英語指導助手（ALT）による外国語活動を実施している。						
成 果		1 児童の興味・関心の向上 (1) 外国語に堪能な補助員の英語での指示や会話を聞かせることにより、児童の外国語への興味・関心を高めることができた。（外国語活動の授業が楽しいと感じる児童の割合…86.4%） (2) 担任と補助員が英語でデモンストレーションを行うことで、よりイメージを膨らませ外国語活動に意欲的に取り組ませることができた。 2 コミュニケーション能力の向上 補助員の支援により、児童の発音やコミュニケーション能力を高める手法として有効であった。 3 担任の負担軽減 外国語活動を指導する担任教師に対し、指導補助員が適切にアドバイスをし、安心して指導に当たることができ、担任の負担軽減につながった。						
成果に係る評価		平成23年度から、小学校5・6年生において年間35時間の外国語活動が義務付けられ、実施している。事業成果、指導補助員の活用は効果的な指導方法であることから、次のような課題を解決しながら、今後もより良い事業を目指して推進していく。 1 担任と補助員とが適切に役割分担をし、協力して授業を進めていく指導計画の充実及び担任教師の指導力の向上 2 補助員が勤務する曜日が固定されているため、行事等で授業が変更になった場合の代替時間の確保 3 市内39小学校への配置のための人材の確保、ALTの活用と関連させた配置計画						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	3,384,000	2,822,850				2,822,850		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()													
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()													
	1 目	学校管理費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()													
実施計画掲載ページ		P19	小 事 業	小学校保健費																
事業コード		02010204	事 業 名	学校医・薬剤師配置事業（小学校）																
目的及び事業内容		各学校に学校医等を配置し定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することにより、児童に係る疾病の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。 ・学校医の配置 ・学校薬剤師の配置																		
取組実績		1 学校医の配置 市立小学校42校に、学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や就学時健康診断の健診業務を実施 ・委嘱した学校医の人数 <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>内 科 医</td><td>31 人</td></tr> <tr><td>眼 科 医</td><td>4 人</td></tr> <tr><td>耳 鼻 科 医</td><td>5 人</td></tr> <tr><td>歯 科 医</td><td>31 人</td></tr> <tr><td>計</td><td>71 人</td></tr> </table> 2 学校薬剤師の配置 市立小学校42校に、学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施 ・委嘱した学校薬剤師の人数 <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>薬 剤 師</td><td>20 人</td></tr> </table>							内 科 医	31 人	眼 科 医	4 人	耳 鼻 科 医	5 人	歯 科 医	31 人	計	71 人	薬 剤 師	20 人
内 科 医	31 人																			
眼 科 医	4 人																			
耳 鼻 科 医	5 人																			
歯 科 医	31 人																			
計	71 人																			
薬 剤 師	20 人																			
成 果		1 定期健康診断等の結果に基づき、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、児童の健全育成や健康の保持増進が図られた。 2 学校施設における日常点検や定期検査の実施等により、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や必要に応じた対策を講じることができた。																		
成果に係る評価		児童に対して的確な予防指導を行って行くうえで重要な事業であり、今後も続けていく必要がある。また、眼科、耳鼻科などの医師不足が深刻化しており、一人の医師が複数の学校医を兼務している実態もあることから、対応策についても検討していく必要がある。																		
（単位：円）																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	31,863,000	30,173,620	437,000			29,736,620														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()														
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()														
	1 目	学校管理費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()														
実施計画掲載ページ	P20		小 事 業	小学校保健費																	
事業コード	02010205		事 業 名	健康診断・検査等実施事業（小学校）																	
目的及び事業内容	<p>定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、児童の健康の保持増進を図り、病気等の早期発見に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断の実施 ・飲料水水質検査の実施 																				
取組実績	<p>1 児童の健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科健診、結核健診、心臓病健診、就学時健診、尿検査、寄生虫卵検査 定期健康診断については全学年、心臓病健診については、対象学年である1年生及び4年生に実施した。</p> <p>2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄 小学校各校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。</p>																				
成 果	<p>定期健康診断を行い、児童の病気の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し健康管理に努めた。また、学校の下水道を飲料水としていることから、水質検査を行うことで、安全な環境の維持を図った。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 定期健康診断</td> <td>小学生</td> <td>7,662人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>心臓病健診</td> <td>1年生</td> <td>1,099人</td> <td>4年生</td> <td>1,348人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>2 飲料水水質検査 小学校 35校 ※門脇小学校は門脇中学校、湊小学校は住吉中学校、大川小学校は飯野川第一小学校、雄勝小学校は河北中学校、相川小学校及び吉浜小学校は橋浦小学校に間借りしているため、それぞれ1校分としている。また、船越小学校は宮城県石巻北高校飯野川校に間借りしており、水質検査は宮城県で実施している。</p>							1 定期健康診断	小学生	7,662人					心臓病健診	1年生	1,099人	4年生	1,348人		
1 定期健康診断	小学生	7,662人																			
心臓病健診	1年生	1,099人	4年生	1,348人																	
成果に係る評価	<p>児童の健康を保持・増進していくためには不可欠な事業であり、今後も続けていく必要がある。また、近年、生活習慣や食生活の乱れなどの理由により、肥満や生活習慣病といった病気の低年齢化が進み、社会的な問題となっていることから、今後は定期健診や各種検査のあり方についても検討していく必要がある。</p>																				
(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	10,469,956	9,357,468	10,000			9,347,468															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	1 目	学校管理費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ	P19		小 事 業	小学校保健費				
事業コード	02010203		事 業 名	就学時健康診断実施事業				
目的及び事業内容	<p>就学予定児に対して、あらかじめ健康診断を行うことにより、健康状況を把握しつつ、学校保健上必要な助言・指導を行うことを目的としている。</p>							
取組実績	<p>1 児童の健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科健診、視力検査、聴力検査を実施した。</p>							
成 果	<p>学校保健安全上、必要な助言・指導を行うことにより、小学校等への円滑な就学が促進され、義務教育の適正な推進が図られた。</p> <p>1 就学時健康診断 1,150人</p>							
成果に係る評価	<p>就学時健康診断は、本庁地区については、各就学予定学校、各総合支所地区については、各総合支所単位で集約し、内科、眼科、耳鼻科、歯科の健診及び視力、聴力検査を実施しているが、少子化や東日本大震災による就学予定児の減少、専門医確保の問題等を踏まえ、複数の小規模校における合同実施等、状況に応じた対応が必要である。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	4,565,900	4,009,340				4,009,340		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()	
実施計画掲載ページ	P24 P26		小 事 業	小学校教育用コンピューター関係費				
事業コード	02010313 02010370		事 業 名	情報教育環境整備事業（小学校） 電子黒板整備事業（小学校）				
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内小学校の教育用コンピューターや周辺機器の更新及び賃貸借（購入又はリース）							
取組実績	小学校教育用コンピューター整備状況							
	整備年度		整備内容					
		教育用コンピューター			電子黒板			
H19		石巻地区19校：	350台					
		雄勝地区 3校：	29台					
		河南地区 1校：	15台					
		北上地区 2校：	18台					
H21		河北地区 5校：	86台	河北地区5校：	10台			
		桃生地区 3校：	56台	桃生地区3校：	6台			
H22		河南地区 6校：	127台	河南地区6校：	12台			
		牡鹿地区 4校：	42台	牡鹿地区4校：	8台			
※ 平成21年度については、緊急経済対策事業で実施 ※ 平成20、23、24年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。								
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がITの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。 ・情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。 ・各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。 							
成果に係る評価	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の教育用コンピューターについては、文科省の整備基準（児童3.6人に1台、普通教室・特別教室に校内LANの設置）を定めているが、石巻市の現状に即した有効的な整備内容を考察しながら、計画的に整備する。 ・電子黒板等の最新のICT機器の整備については、石巻市情報教育推進委員会において、使用する教員が使いやすい、児童にわかりやすい授業が展開できる製品を選定するとともに運用方法についても検討している。 							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	25,285,000	25,183,599				25,183,599		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																						
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																						
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																						
実施計画掲載ページ	P23		小 事 業	小学校教育振興援助費																									
事業コード	02010301		事 業 名	就学援助・特別支援教育奨励事業（小学校）																									
目的及び事業内容	<p>経済的な事情により就学が困難な児童の保護者に対し就学費の助成を行うとともに、特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し就学奨励費の助成を行うことにより、教育機会の均等な提供に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助費の助成 ・特別支援教育就学奨励費の助成 																												
取組実績	1 就学援助費 助成 認定者数 837人 / 児童数 7,667人 (10.92%)																												
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品費</td> <td>9,737,270 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊無し）</td> <td>1,023,923 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊付き）</td> <td>302,060 円</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td>13,280 円</td> </tr> <tr> <td>新入学用品費</td> <td>1,452,700 円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>2,837,586 円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>32,206,789 円</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td>694,590 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>48,268,198 円</td> </tr> </tbody> </table>						項 目	金 額	学用品費	9,737,270 円	校外活動費（泊無し）	1,023,923 円	校外活動費（泊付き）	302,060 円	通学費	13,280 円	新入学用品費	1,452,700 円	修学旅行費	2,837,586 円	給食費	32,206,789 円	医療費	694,590 円	計	48,268,198 円	
項 目	金 額																												
学用品費	9,737,270 円																												
校外活動費（泊無し）	1,023,923 円																												
校外活動費（泊付き）	302,060 円																												
通学費	13,280 円																												
新入学用品費	1,452,700 円																												
修学旅行費	2,837,586 円																												
給食費	32,206,789 円																												
医療費	694,590 円																												
計	48,268,198 円																												
取組実績	2 特別支援教育就学奨励費 助成 認定者数 109人 / 児童数 7,667人 (1.42%)																												
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品費</td> <td>301,554 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊無し）</td> <td>23,999 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊付き）</td> <td>10,715 円</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td>334,259 円</td> </tr> <tr> <td>新入学用品費</td> <td>49,750 円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>31,897 円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>1,189,222 円</td> </tr> <tr> <td>交流学習交通費</td> <td>28,461 円</td> </tr> <tr> <td>ことばの教室</td> <td>158,408 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,128,265 円</td> </tr> </tbody> </table>						項 目	金 額	学用品費	301,554 円	校外活動費（泊無し）	23,999 円	校外活動費（泊付き）	10,715 円	通学費	334,259 円	新入学用品費	49,750 円	修学旅行費	31,897 円	給食費	1,189,222 円	交流学習交通費	28,461 円	ことばの教室	158,408 円	計
項 目	金 額																												
学用品費	301,554 円																												
校外活動費（泊無し）	23,999 円																												
校外活動費（泊付き）	10,715 円																												
通学費	334,259 円																												
新入学用品費	49,750 円																												
修学旅行費	31,897 円																												
給食費	1,189,222 円																												
交流学習交通費	28,461 円																												
ことばの教室	158,408 円																												
計	2,128,265 円																												
成 果	<p>経済的に就学困難な児童の保護者へ学校で必要となる経費を援助することにより、義務教育を円滑に実施することができた。</p> <p>また、特別支援学級へ通う児童の保護者へ必要な経費を援助することにより、経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を図ることができた。</p>																												
成果に係る評価	<p>経済的に就学困難な家庭や、特別支援学級に通級する児童の保護者へ経済的に支援することにより、児童の就学を確保し円滑な義務教育を図ることができることから今後も継続すべき事業である。</p> <p>ただし、経済情勢が厳しいことを踏まえて、今後は認定基準や支給基準についてその状況に応じ柔軟に対応することが必要である。</p>																												
(単位：円)																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
	51,651,027	50,396,463	928,300			49,468,163																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()									
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()									
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()									
実施計画掲載ページ	P24		小 事 業	小学校図書整備事業費												
事業コード	02010311		事 業 名	学校図書整備事業（小学校）												
目的及び事業内容	全国的な傾向である小中学生の読書離れが進む中、文部科学省では子どもの読書活動の推進や学校教育における言語力の涵養に資するためには、学校図書館の充実が必要であるとの認識に基づき、平成24年度から平成28年度までの5年間を新たな「学校図書館図書整備5カ年計画」として策定し、整備を推進している。本市も学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内小中学校の学校図書を整備するもの。															
取組実績	<p>市内全ての小学校において、学校図書館標準書数に対する充足率が100%となることを目標とし、低充足率の学校に予算を重点配分したことによる購入のほか、厚意での図書の寄附による整備により学校図書の充実を図った。</p> <p>なお、寄附冊数が激増し緊急経済対策事業による整備を行った平成23年度に比べ、整備冊数は減少となった。</p> <p><小学校図書の整備冊数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,072冊</td> <td>10,009冊</td> <td>32,143冊</td> <td>17,276冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 寄贈含む。</p>								H21	H22	H23	H24	9,072冊	10,009冊	32,143冊	17,276冊
H21	H22	H23	H24													
9,072冊	10,009冊	32,143冊	17,276冊													
成 果	<p>学校図書の整備充実を図り、学習活動に積極的に活用することにより学習効果が図られ、児童が自ら進んで言葉を学び、感性・表現力・創造力等の生きる力がより育成された。</p> <p>なお、被災した学校の図書整理が平成24年度になってから本格的に行われたことから、廃棄数が取得数を上回り一時的に充足率が低下したものの、新しい図書の購入も進み蔵書内容が充実してきた。</p> <p><小学校図書の充足率></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>67.54%</td> <td>70.84%</td> <td>76.59%</td> <td>75.65%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成24年度末での充足率50%以上達成校 37校</p> <p>※ 充足率は市内小学校の平均である。</p>								H21	H22	H23	H24	67.54%	70.84%	76.59%	75.65%
H21	H22	H23	H24													
67.54%	70.84%	76.59%	75.65%													
成果に係る評価	学校図書を学習活動に積極的に活用し、学習効果の向上を図るには、児童の課題解決に沿った図書が整備充実され、いつでも気軽に利用できるような環境を整えることが必要である。学校図書整備はその基本となる事業であり、今後とも読書環境の整備に努めたい。															
(単位：円)																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	9,500,000	9,424,310				9,424,310										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	2 項	小学校費		第 節	(1)	未来の人を育てる
	3 4 目	学校建設費 東日本大震災関係費		()	(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ	P166		小 事 業	須江小学校校舎増築事業費		
事業コード	40-101-001-222		事 業 名	須江小学校校舎増築事業		
目的及び事業内容	須江小学校学区では、民間資本による大規模な土地分譲や震災による影響から児童数が増加しており、それに伴い教室数が不足していることから、教室不足を解消するため校舎を増築する。					
取組実績	<p>1 須江小学校校舎増築予定地地質調査業務</p> <p>2 須江小学校増築工事設計業務</p> <p>3 須江小学校仮設校舎賃貸借（建て上げ及び賃貸借）</p>					
成 果	平成25年度末の増築校舎の完成に向けて、平成25年度に工事を実施する事から、仮設校舎を建設し授業に支障が生じないよう配慮した。 また、平成25年度の工事実施にあたり、地質調査結果に基づく実施設計が完了した。					
成果に係る評価	平成26年度の増築校舎の供用開始に向け実施設計が完了し、平成25年度に工事に着手することが可能となり、教室数不足解消の見通しがついた。					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	50,931,000	50,321,250		45,700,000		4,621,250

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()	
実施計画掲載ページ	P26		小 事 業	寄磯小学校屋内運動場屋根・外壁改修事業費				
事業コード	02010368		事 業 名	寄磯小学校屋内運動場屋根・外壁改修事業				
目的及び事業内容	沿岸の高台に位置する寄磯小学校は、建築後30年以上経過しており、老朽化や塩害の影響を強く受け屋根、外壁の腐食が著しいため、屋根、外壁の塗装工事を実施する。							
取 組 実 績	1 寄磯小学校屋内運動場屋根外壁改修工事設計業務 2 寄磯小学校屋内運動場屋根外壁改修工事 (1) 工事概要 ア 屋根面フッ素樹脂塗装替 イ 外壁面フッ素樹脂塗装替 ウ 渡り廊下鉄部フッ素樹脂塗装替 エ 渡り廊下木部保護塗装替 オ 渡り廊下屋根折板葺替							
成 果	本事業の実施により、腐食の進行と、慢性的になっていた雨漏りを防ぐことができ、快適な学習環境が再現され施設の延命化を図る事ができた。							
成果に係る評価	学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、また、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用する公共施設及び災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、学校施設の防水改修整備により児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図ることができた。今後も学校施設の防水改修工事を計画的に実施していく必要がある。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	15,845,000	13,844,250			12,520,000	1,324,250		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																														
	2 項	小学校費		第 節	(1)	未来の人を育てる																																														
	4 目	東日本大震災関係費		()	(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																														
実施計画掲載ページ	P167		小 事 業	被災児童通学支援事業費																																																
事業コード	40-101-001-228		事 業 名	通学支援事業（小学校）〔復興基金〕																																																
目的及び事業内容	東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった児童及び学区外の仮設住宅等に入居し指定校まで遠距離通学となる児童に対し、安全、安心に通学できる環境を提供することを目的とし、スクールバス運行による通学支援や公共交通機関利用に係る負担額への助成を実施する。 ・代替え校スクールバス運行 ・仮設住宅スクールバス運行 ・通学路安全対策スクールバス等運行 ・通学費補助																																																			
取 組 実 績	東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった児童及び学区外の仮設住宅等に入居し指定校まで遠距離通学となる児童に対し、スクールバス運行による通学支援を実施した。 また、通学路の危険箇所安全対策として対象となる万石浦祝田地区の児童に対し、タクシー運行による通学支援を実施した。 なお、通学路安全対策の対象となっていた万石浦沢田地区の通学路の改修等が終了したことにより、通学路安全対策に伴うスクールバス運行及び公共交通機関利用に係る通学費補助については実績はなかった。 (支援実績) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替え校スクールバス</td> <td>9校</td> <td>565人</td> <td>140,090,385 円</td> </tr> <tr> <td>仮設住宅スクールバス</td> <td>24校</td> <td>278人</td> <td>86,428,890 円</td> </tr> <tr> <td>通学路安全対策タクシー</td> <td>1校</td> <td>10人</td> <td>1,084,770 円</td> </tr> <tr> <td>スクールバス関連経費等※</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3,659,177 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>231,263,222 円</td> </tr> </tbody> </table> ※稲井小・中学校周辺通学路交通誘導警備業務、仮設トイレ設置、駐車場修繕経費等 (支援の状況) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>湊小学校</td> <td>間借り校舎（住吉中学校）へスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>湊第二小学校</td> <td>仮設校舎（開北小学校校庭）へスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>渡波小学校</td> <td>仮設校舎（稲井中学校校庭）へスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>稲井小学校</td> <td>南境仮設住宅入居者の稲井小学校への転入によりスクールバスを追加</td> </tr> <tr> <td>大川小学校</td> <td>間借り校舎（飯野川第一小学校）へスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>雄勝小学校</td> <td>間借り校舎（河北中学校）へスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>船越小学校</td> <td>間借り校舎（宮城県石巻北高校飯野川校）へスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>相川小学校</td> <td>間借り校舎（橋浦小学校）へスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>吉浜小学校</td> <td>間借り校舎（橋浦小学校）へスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>万石浦小学校</td> <td>通学路安全対策（祝田地区）のためスクールタクシー運行</td> </tr> </tbody> </table>						区分	学校数	対象人数	金額	代替え校スクールバス	9校	565人	140,090,385 円	仮設住宅スクールバス	24校	278人	86,428,890 円	通学路安全対策タクシー	1校	10人	1,084,770 円	スクールバス関連経費等※	—	—	3,659,177 円	計	—	—	231,263,222 円	学校名	状 況	湊小学校	間借り校舎（住吉中学校）へスクールバス運行	湊第二小学校	仮設校舎（開北小学校校庭）へスクールバス運行	渡波小学校	仮設校舎（稲井中学校校庭）へスクールバス運行	稲井小学校	南境仮設住宅入居者の稲井小学校への転入によりスクールバスを追加	大川小学校	間借り校舎（飯野川第一小学校）へスクールバス運行	雄勝小学校	間借り校舎（河北中学校）へスクールバス運行	船越小学校	間借り校舎（宮城県石巻北高校飯野川校）へスクールバス運行	相川小学校	間借り校舎（橋浦小学校）へスクールバス運行	吉浜小学校	間借り校舎（橋浦小学校）へスクールバス運行	万石浦小学校	通学路安全対策（祝田地区）のためスクールタクシー運行
区分	学校数	対象人数	金額																																																	
代替え校スクールバス	9校	565人	140,090,385 円																																																	
仮設住宅スクールバス	24校	278人	86,428,890 円																																																	
通学路安全対策タクシー	1校	10人	1,084,770 円																																																	
スクールバス関連経費等※	—	—	3,659,177 円																																																	
計	—	—	231,263,222 円																																																	
学校名	状 況																																																			
湊小学校	間借り校舎（住吉中学校）へスクールバス運行																																																			
湊第二小学校	仮設校舎（開北小学校校庭）へスクールバス運行																																																			
渡波小学校	仮設校舎（稲井中学校校庭）へスクールバス運行																																																			
稲井小学校	南境仮設住宅入居者の稲井小学校への転入によりスクールバスを追加																																																			
大川小学校	間借り校舎（飯野川第一小学校）へスクールバス運行																																																			
雄勝小学校	間借り校舎（河北中学校）へスクールバス運行																																																			
船越小学校	間借り校舎（宮城県石巻北高校飯野川校）へスクールバス運行																																																			
相川小学校	間借り校舎（橋浦小学校）へスクールバス運行																																																			
吉浜小学校	間借り校舎（橋浦小学校）へスクールバス運行																																																			
万石浦小学校	通学路安全対策（祝田地区）のためスクールタクシー運行																																																			
成 果	東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった児童及び学区外の仮設住宅等に入居し指定校まで遠距離通学となる児童に対しスクールバス運行による通学支援のほか、通学路の危険箇所安全対策として対象となる児童に対しタクシー運行による通学支援を実施したことにより、安全、安心に通学できる環境を提供することができた。																																																			
成果に係る評価	被災した学校の学区から代替え校又は仮設校舎へ通学する児童及び学区外の仮設住宅等に入居し指定校まで遠距離通学となる児童に対し、通学支援と通学路の安全対策が図られ、安全・安心に通学することができた。 今後は、学校施設の復旧や被災者の再建状況を踏まえながら事業を継続していく。																																																			
(単位：円)																																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																														
	232,862,000	231,263,222	221,220,975		1,084,770	8,957,477																																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																			
	2 項	小学校費		第 節		(1)	未来の人を育てる																			
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																			
実施計画掲載ページ	P 168		小 事 業	被災児童就学支援事業費																						
事業コード	40-101-001-229		事 業 名	就学援助事業（小学校）																						
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により被災し、就学困難となった児童の保護者に対し、就学費の助成を行うことにより、児童生徒の就学の機会を確保する。 （支給対象者） ・住居の被害状況が半壊以上の判定を受けた世帯 ・世帯収入が著しく減少した世帯</p>																									
取組実績	1 就学援助費 認定者数 2,482人 / 児童数 7,667人 (32.37%)																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品費</td> <td>31,596,140 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊無し）</td> <td>3,183,058 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊付き）</td> <td>935,424 円</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td>20,400 円</td> </tr> <tr> <td>新入学用品費</td> <td>7,402,800 円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>7,179,996 円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>105,815,938 円</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td>131,740 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>156,265,496 円</td> </tr> </tbody> </table>							項 目	金 額	学用品費	31,596,140 円	校外活動費（泊無し）	3,183,058 円	校外活動費（泊付き）	935,424 円	通学費	20,400 円	新入学用品費	7,402,800 円	修学旅行費	7,179,996 円	給食費	105,815,938 円	医療費	131,740 円	計
項 目	金 額																									
学用品費	31,596,140 円																									
校外活動費（泊無し）	3,183,058 円																									
校外活動費（泊付き）	935,424 円																									
通学費	20,400 円																									
新入学用品費	7,402,800 円																									
修学旅行費	7,179,996 円																									
給食費	105,815,938 円																									
医療費	131,740 円																									
計	156,265,496 円																									
成 果	東日本大震災により被災し、就学が困難となった児童に対し就学援助費を支給することにより、児童の就学の機会を確保することができた。																									
成果に係る評価	<p>国の被災児童生徒就学支援等特例交付金を活用し事業を実施しており、被災した児童への就学支援を行うため、今後も継続していく必要がある。 なお、同制度は現時点で平成26年度までとされており、その後の事業実施に当たっては、認定基準や支給基準について、本市の復興状況等を踏まえた見直しが必要となる。</p>																									
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	156,582,000	156,265,496	156,265,496																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	2 項	小学校費		第 節		(1)	未来の人を育てる
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ	P 166		小 事 業	桃生小学校水泳プール改築事業費			
事業コード	40-101-001-225		事 業 名	桃生小・中学校水泳プール改善事業			
目的及び事業内容	<p>桃生小学校のプールは昭和45年に、桃生中学校のプールは昭和46年に設置されたものであり、共にすでに40年以上経過し、施設の老朽化や給排水設備の腐食化とともに地盤沈下により施設全体が傾斜しているなど、応急的な修繕やメンテナンスによる維持管理が困難な状況となっているため改築する。</p>						
取組実績	1 桃生小学校水泳プール改築予定地地質調査業務						
	2 桃生小学校水泳プール改築工事設計業務						
成 果	平成25年度の工事実施にあたり地質調査を実施し、当該調査結果に基づく実施設計が完了した。						
成果に係る評価	<p>実施設計が完了し、平成25年度に工事に着手することが可能となり、桃生小学校については、平成26年度供用開始の見通しがついた。</p>						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	6,594,000	6,594,000		3,400,000			3,194,000

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	3 項	中学校費		第 節		(1)	未来の人を育てる
	1 目	学校管理費 学校建設費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画 掲載ページ	P167		小 事 業	蛇田中学校屋内運動場耐震補強事業費 ほか3事業			
事業コード	40-101-001-227		事 業 名	学校施設耐震補強事業（中学校）			
目的及び事業内容	生徒の安全確保を最優先とし、H16～H19年度に実施した耐震診断の結果を踏まえ大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性があるとされる I S 値0.7未満の施設を、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき耐震補強工事を実施する。						
取 組 実 績	1 耐震補強工事実施校 (1) 蛇田中学校屋内運動場						
成 果	耐震補強工事を実施した事により、生徒が安心して安全に学習できる環境が拡大した。 また、学校施設は災害発生時の避難場所として重要な役割を担っているが、本事業により地域住民に安心と安全を提供する事ができた。						
成果に係る評価	学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、また、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用する公共施設及び災害発生時の避難場所として重要な役割を担っている。 今回、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備したことで、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心の確保に寄与した。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	236,838,100	101,333,913	40,127,000	35,200,000		26,006,913	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	復興計画	()	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	3 項	中学校費		第 1 節		()	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する
	1 目	学校管理費		(3)		()	充実した教育を行える環境をつくる
実施計画 掲載ページ	P23		小 事 業	中学校管理費（教育総務課）			
事業コード	02010302		事 業 名	遠距離通学支援事業（中学校）			
目的及び事業内容	市立中学校の統廃合等により遠距離通学の対象となる生徒に対し、公共交通機関やスクールバス等の活用を促すことにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。 ・スクールバス等の運行 ・遠距離通学費補助金の交付						
取 組 実 績	遠距離通学の対象生徒に係るスクールバス及びスクールポートを運行するとともに、公共交通機関を利用する遠距離通学生徒の保護者には交通費の補助を行った。 1 スクールバス等の運行						
			区分	年度	学校数	対象人数	金額
			スクールバス	H23	5校	94人	31,673,220 円
				H24	5校	73人	32,814,560 円
			スクールポート (牡鹿中学校)	H23	1校	2人	2,723,594 円
				H24	1校	1人	3,729,600 円
	※スクールバス対象校（H24） 荻浜中学校、万石浦中学校、雄勝中学校、北上中学校、牡鹿中学校						
			2 遠距離通学費補助金				
			区分	年度	学校数	対象人数	金額
			遠距離通学費補助金	H23	1校	3人	262,020 円
				H24	2校	4人	286,848 円
	※遠距離通学補助金対象校（H24） 荻浜中学校、桃生中学校						
成 果	スクールバス等の運行や公共交通機関の利用を促すことで、学校統廃合などにより遠距離通学となった生徒に係る、登下校中の安全・安心の確保が図られた。						
成果に係る評価	遠距離通学生徒の安全・安心を図るため継続が求められる事業であることから、地域の実情に配慮しながら引き続き適正な運行を実施していく必要がある。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	37,196,698	36,831,008	8,243,000			28,588,008	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()													
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()													
	1 目	学校管理費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()													
実施計画掲載ページ	P19		小 事 業	中学校保健費																
事業コード	02010204		事 業 名	学校医・薬剤師配置事業（中学校）																
目的及び事業内容	<p>各学校に学校医等を配置し定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することにより、生徒に係る疾病の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医の配置 ・学校薬剤師の配置 																			
取組実績	<p>1 学校医の配置 市立中学校21校に、学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施</p> <p>・委嘱した学校医の人数</p> <table border="1"> <tr><td>内 科 医</td><td>19 人</td></tr> <tr><td>眼 科 医</td><td>5 人</td></tr> <tr><td>耳 鼻 科 医</td><td>5 人</td></tr> <tr><td>歯 科 医</td><td>21 人</td></tr> <tr><td>計</td><td>50 人</td></tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 市立中学校21校に、学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施</p> <p>・委嘱した学校薬剤師の人数</p> <table border="1"> <tr><td>薬 剤 師</td><td>15 人</td></tr> </table>								内 科 医	19 人	眼 科 医	5 人	耳 鼻 科 医	5 人	歯 科 医	21 人	計	50 人	薬 剤 師	15 人
内 科 医	19 人																			
眼 科 医	5 人																			
耳 鼻 科 医	5 人																			
歯 科 医	21 人																			
計	50 人																			
薬 剤 師	15 人																			
成 果	<p>1 定期健康診断等の結果に基づき、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、生徒の健全育成や健康の保持増進が図られた。</p> <p>2 学校施設における日常点検や定期検査の実施等により、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や必要に応じた対策を講じることができた。</p>																			
成果に係る評価	<p>生徒に対して的確な予防指導を行っていくうえで重要な事業であり、今後も続けていく必要がある。また、眼科、耳鼻科などの医師不足が深刻化しており、一人の医師が複数の学校医を兼務している実態もあることから、対応策についても検討していく必要もある。</p>																			
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	16,987,000	16,070,139	332,000			15,738,139														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	1 目	学校管理費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ	P20		小 事 業	中学校保健費				
事業コード	02010205		事 業 名	健康診断・検査等実施事業（中学校）				
目的及び事業内容	<p>定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、病気等の早期発見に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断の実施 ・飲料水水質検査の実施 							
取組実績	<p>1 生徒の健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科健診、結核健診、心臓病健診、尿検査、貧血・脂質検査 定期健康診断については全学年、心臓病健診については、対象学年である1年生に実施した。</p> <p>2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄 中学校各校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。</p>							
成 果	<p>定期健康診断を行い、生徒の病気の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し健康管理に努めた。また、学校の上水道を飲料水としていることから、水質検査を行うことで、安全な環境の維持を図った。</p> <p>1 定期健康診断 中学生 4,249人 心臓病健診 1年生 1,420人</p> <p>2 飲料水水質検査 中学校 19校 ※大川中学校は飯野川中学校に間借りしているため、飯野川中学校と併せて1校分としている。また、雄勝中学校は宮城県石巻北高校飯野川校に間借りしており、水質検査は宮城県で実施している。</p>							
成果に係る評価	<p>生徒の健康を保持・増進していくためには不可欠な事業であり、今後も続けていく必要がある。また、近年、生活習慣や食生活の乱れなどの理由により、肥満や生活習慣病といった病気の低年齢化が進み、社会的な問題となっていることから、今後は定期健診や各種検査のあり方についても検討していく必要がある。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	6,962,134	6,514,565	32,000			6,482,565		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()	
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()	
実施計画掲載ページ	P24 P26		小 事 業	中学校教育用コンピューター関係費				
事業コード	02010313 02010370		事 業 名	情報教育環境整備事業（中学校） 電子黒板整備事業（中学校）				
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内中学校の教育用コンピューターや周辺機器の更新及び賃貸借（購入又はリース）							
取組実績	中学校教育用コンピューター整備状況							
	整備年度		整備内容					
		教育用コンピューター		電子黒板				
H19		石巻地区3校：158台 雄勝地区2校：62台 北上地区1校：45台						
H21		河北地区3校：90台 桃生地区1校：42台		河北地区3校：6台 桃生地区1校：2台				
H22		河南地区2校：90台 牡鹿地区1校：44台		河南地区2校：6台 牡鹿地区1校：3台				
H24		石巻地区6校：293台		石巻地区6校：24台				
※ 平成21年度については、緊急経済対策事業で実施 ※ 平成20、23年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。								
成 果	<ul style="list-style-type: none"> 生徒がITの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。 情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。 各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。 							
成果に係る評価	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の教育用コンピューターについては、文科省の整備基準（生徒3.6人に1台、普通教室・特別教室に校内LANの設置）を定めているが、石巻市の現状に即した有効的な整備内容を考察しながら、計画的に整備する。 電子黒板等の最新のICT機器の整備については、石巻市情報教育推進委員会において、使用する教員が使いやすく、児童生徒にわかりやすい授業が展開できる製品を選定するとともに運用方法についても検討している。 							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	39,676,266	37,194,470				37,194,470		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手を育成する	復興計画	()																						
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちをばぐくむまち		()																						
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境を整える		()																						
実施計画掲載ページ	P23		小 事 業	中学校教育振興援助費																									
事業コード	02010301		事 業 名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（中学校）																									
目的及び事業内容	<p>経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者に対し就学費の助成を行うとともに、特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し就学奨励費の助成を行うことにより、教育機会の均等な提供に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 就学援助費の助成 特別支援教育就学奨励費の助成 																												
取組実績	1 就学援助費 助成 認定者数 583人 / 生徒数 4,253人 (13.71%)																												
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品費</td> <td>12,316,095 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊無し）</td> <td>250,434 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊付き）</td> <td>690,453 円</td> </tr> <tr> <td>新入学用品費</td> <td>3,206,000 円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>12,989,662 円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>25,460,527 円</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td>412,200 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>55,325,371 円</td> </tr> </tbody> </table>						項 目	金 額	学用品費	12,316,095 円	校外活動費（泊無し）	250,434 円	校外活動費（泊付き）	690,453 円	新入学用品費	3,206,000 円	修学旅行費	12,989,662 円	給食費	25,460,527 円	医療費	412,200 円	計	55,325,371 円			
項 目	金 額																												
学用品費	12,316,095 円																												
校外活動費（泊無し）	250,434 円																												
校外活動費（泊付き）	690,453 円																												
新入学用品費	3,206,000 円																												
修学旅行費	12,989,662 円																												
給食費	25,460,527 円																												
医療費	412,200 円																												
計	55,325,371 円																												
取組実績	2 特別支援教育就学奨励費 助成 認定者数 46人 / 生徒数 4,253人 (1.08%)																												
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品費</td> <td>207,056 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊無し）</td> <td>4,965 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊付き）</td> <td>14,466 円</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td>112,361 円</td> </tr> <tr> <td>新入学用品費</td> <td>103,050 円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>88,970 円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>454,988 円</td> </tr> <tr> <td>交流学習</td> <td>245,835 円</td> </tr> <tr> <td>職場実習交通費</td> <td>3,127,044 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,358,735 円</td> </tr> </tbody> </table>						項 目	金 額	学用品費	207,056 円	校外活動費（泊無し）	4,965 円	校外活動費（泊付き）	14,466 円	通学費	112,361 円	新入学用品費	103,050 円	修学旅行費	88,970 円	給食費	454,988 円	交流学習	245,835 円	職場実習交通費	3,127,044 円	計
項 目	金 額																												
学用品費	207,056 円																												
校外活動費（泊無し）	4,965 円																												
校外活動費（泊付き）	14,466 円																												
通学費	112,361 円																												
新入学用品費	103,050 円																												
修学旅行費	88,970 円																												
給食費	454,988 円																												
交流学習	245,835 円																												
職場実習交通費	3,127,044 円																												
計	4,358,735 円																												
成 果	<p>経済的に就学困難な生徒の保護者へ学校で必要となる経費を援助することにより、義務教育を円滑に実施することができた。</p> <p>また、特別支援学級へ通う生徒の保護者へ必要な経費を援助することにより、経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を図ることができた。</p>																												
成果に係る評価	<p>経済的に就学困難な家庭や、特別支援学級に通級する生徒の保護者へ経済的に支援することにより、生徒の就学を確保し円滑な義務教育を図ることができることから今後も継続すべき事業である。</p> <p>ただし、経済情勢が厳しいことを踏まえて、今後は認定基準や支給基準についてその状況に応じ柔軟に対応することが必要である。</p>																												
(単位：円)																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
	78,534,000	59,684,106	2,133,700			57,550,406																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()								
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()								
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()								
実施計画掲載ページ	P24		小 事 業	中学校図書整備事業費											
事業コード	02010311		事 業 名	学校図書整備事業（中学校）											
目的及び事業内容	全国的な傾向である小中学生の読書離れが進む中、文部科学省では子どもの読書活動の推進や学校教育における言語力の涵養に資するためには、学校図書館の充実が必要であるとの認識に基づき、平成24年度から平成28年度までの5年間を新たな「学校図書館図書整備5カ年計画」として策定し、整備を推進している。本市も学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内小中学校の学校図書を整備するもの。														
取 組 実 績	<p>市内全ての中学校において、学校図書館標準書数に対する充足率が100%となることを目標とし、低充足率の学校に予算を重点配分したことによる購入のほか、厚意での図書の寄附による整備により学校図書の充実を図った。</p> <p>なお、寄附冊数が多く緊急経済対策事業による整備を行った平成23年度に比べ、整備冊数は減少となった。</p> <p><中学校図書の整備冊数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,720冊</td> <td>10,576冊</td> <td>10,475冊</td> <td>7,832冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 寄贈含む。</p>							H21	H22	H23	H24	7,720冊	10,576冊	10,475冊	7,832冊
H21	H22	H23	H24												
7,720冊	10,576冊	10,475冊	7,832冊												
成 果	<p>学校図書の整備充実を図り、学習活動に積極的に活用することにより学習効果が図られ、生徒が自ら進んで言葉を学び、感性・表現力・創造力等の生きる力がより育成された。</p> <p><中学校図書の充足率></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>59.56%</td> <td>68.22%</td> <td>61.29%</td> <td>64.95%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成24年度末での充足率50%以上達成校 18校</p> <p>※ 充足率は市内中学校の平均である。</p>							H21	H22	H23	H24	59.56%	68.22%	61.29%	64.95%
H21	H22	H23	H24												
59.56%	68.22%	61.29%	64.95%												
成果に係る評価	学校図書を学習活動に積極的に活用し、学習効果の向上を図るには、生徒の課題解決に沿った図書が整備充実され、いつでも気軽に利用できるような環境を整えることが必要である。学校図書整備はその基本となる事業であり、今後とも読書環境の整備に努めたい。														
(単位：円)															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
	12,500,000	11,600,934	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源									
						11,600,934									

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																														
	3 項	中学校費		第 節	(1)	未来の人を育てる																														
	4 目	東日本大震災関係費		()	(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																														
実施計画掲載ページ	P167		小 事 業	被災生徒通学支援事業費																																
事業コード	40-101-001-228		事 業 名	通学支援事業（中学校）																																
目的及び事業内容	東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった生徒及び学区外の仮設住宅等に入居し指定校まで遠距離通学となる生徒に対し、安全、安心に通学できる環境を提供することを目的とし、スクールバス運行による通学支援や公共交通機関利用に係る負担額への助成を実施する。																																			
取 組 実 績	<p>東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった生徒及び学区外の仮設住宅等に入居し指定校まで遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス運行による通学支援を実施した。</p> <p>なお、通学路安全対策の対象となっていた万石浦沢田地区の通学路の改修等が終了したことにより、通学路安全対策に伴うスクールバス運行及び公共交通機関利用に係る通学費補助については実績はなかった。</p> <p>(支援実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替え校スクールバス</td> <td>9校</td> <td>409人</td> <td>118,625,940 円</td> </tr> <tr> <td>仮設住宅スクールバス</td> <td>13校</td> <td>245人</td> <td>86,428,890 円</td> </tr> <tr> <td>スクールバス関連経費等※</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>144,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>205,198,830 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※震災に伴う河南西中学校プール修繕に伴う生徒輸送バス借上料</p> <p>(支援の状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>湊中学校</td> <td>仮設校舎（中里小学校校庭）へスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>渡波中学校</td> <td>仮設校舎（稲井小学校校庭）へスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>大川中学校</td> <td>間借り校舎（飯野川中学校）へスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>雄勝中学校</td> <td>間借り校舎（宮城県石巻北高校飯野川校）へスクールバス運行</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	学校数	対象人数	金 額	代替え校スクールバス	9校	409人	118,625,940 円	仮設住宅スクールバス	13校	245人	86,428,890 円	スクールバス関連経費等※	—	—	144,000 円	計	—	—	205,198,830 円	学校名	状 況	湊中学校	仮設校舎（中里小学校校庭）へスクールバス運行	渡波中学校	仮設校舎（稲井小学校校庭）へスクールバス運行	大川中学校	間借り校舎（飯野川中学校）へスクールバス運行	雄勝中学校	間借り校舎（宮城県石巻北高校飯野川校）へスクールバス運行
区 分	学校数	対象人数	金 額																																	
代替え校スクールバス	9校	409人	118,625,940 円																																	
仮設住宅スクールバス	13校	245人	86,428,890 円																																	
スクールバス関連経費等※	—	—	144,000 円																																	
計	—	—	205,198,830 円																																	
学校名	状 況																																			
湊中学校	仮設校舎（中里小学校校庭）へスクールバス運行																																			
渡波中学校	仮設校舎（稲井小学校校庭）へスクールバス運行																																			
大川中学校	間借り校舎（飯野川中学校）へスクールバス運行																																			
雄勝中学校	間借り校舎（宮城県石巻北高校飯野川校）へスクールバス運行																																			
成 果	東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった生徒及び学区外の仮設住宅等に入居し指定校まで遠距離通学となる生徒に対しスクールバス運行による通学支援を実施したことにより、安全、安心に通学できる環境を提供することができた。																																			
成果に係る評価	被災した学校の学区から代替え校又は仮設校舎へ通学する生徒及び学区外の仮設住宅等に入居し指定校まで遠距離通学となる生徒に対し、通学支援と通学路の安全対策が図られ、安全・安心に通学することができた。 今後は、学校施設の復旧や被災者の再建状況を踏まえながら事業を継続していく。																																			
(単位：円)																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																	
	207,041,000	205,198,830	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
			197,685,930			7,512,900																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																			
	3 項	中学校費		第 節		(1)	未来の人を育てる																			
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																			
	実施計画掲載ページ	P 168		小 事 業		被災生徒就学支援事業費																				
事業コード	40-101-001-229	事業名	就学援助事業（中学校）																							
目的及び事業内容	東日本大震災により被災し、就学困難となった生徒の保護者に対し、就学費の助成を行うことにより、生徒の就学の機会を確保する。 （支給対象者） ・住居の被害状況が半壊以上の判定を受けた世帯 ・世帯収入が著しく減少した世帯																									
取組実績	1 就学援助費 認定者数 1,454人 / 生徒数 4,253人 (34.19%) 助 成																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品費</td> <td>33,183,600 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊無し）</td> <td>474,492 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊付き）</td> <td>2,324,328 円</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td>334,738 円</td> </tr> <tr> <td>新入学用品費</td> <td>11,679,000 円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>26,886,212 円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>70,807,271 円</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td>130,870 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>145,820,511 円</td> </tr> </tbody> </table>							項目	金額	学用品費	33,183,600 円	校外活動費（泊無し）	474,492 円	校外活動費（泊付き）	2,324,328 円	通学費	334,738 円	新入学用品費	11,679,000 円	修学旅行費	26,886,212 円	給食費	70,807,271 円	医療費	130,870 円	計
項目	金額																									
学用品費	33,183,600 円																									
校外活動費（泊無し）	474,492 円																									
校外活動費（泊付き）	2,324,328 円																									
通学費	334,738 円																									
新入学用品費	11,679,000 円																									
修学旅行費	26,886,212 円																									
給食費	70,807,271 円																									
医療費	130,870 円																									
計	145,820,511 円																									
成 果	東日本大震災により被災し、就学が困難となった生徒に対し就学援助費を支給することにより、生徒の就学の機会を確保することができた。																									
成果に係る評価	国の被災児童生徒就学支援等特例交付金を活用し事業を実施しており、被災した生徒への就学支援を行うため、今後も継続していく必要がある。 なお、同制度は現時点で平成26年度までとされており、その後の事業実施に当たっては、認定基準や支給基準について、本市の復興状況等を踏まえた見直しが必要となる。																									
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	147,401,000	145,820,511	145,820,511																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	復興計画	()	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち									
	4 項	高等学校費		第 1 節		()	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する									
	1 目	学校管理費		(2)		()	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ									
	実施計画掲載ページ	P 19		小 事 業		高等学校保健費										
事業コード	02010204	事業名	学校医・薬剤師配置事業（高等学校）													
目的及び事業内容	各学校に学校医等を配置し定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することにより、生徒に係る疾病の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。 ・学校医の配置 ・学校薬剤師の配置															
取組実績	1 学校医の配置 市立高等学校2校に、学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施 ・委嘱した学校医の人数															
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>内 科 医</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>1 人</td> </tr> <tr> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>2 人</td> </tr> <tr> <td>歯 科 医</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9 人</td> </tr> </tbody> </table>							内 科 医	3 人	眼 科 医	1 人	耳 鼻 科 医	2 人	歯 科 医	3 人	計
内 科 医	3 人															
眼 科 医	1 人															
耳 鼻 科 医	2 人															
歯 科 医	3 人															
計	9 人															
成 果	2 学校薬剤師の配置 市立高等学校2校に、学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施 ・委嘱した学校薬剤師の人数															
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>2 人</td> </tr> </tbody> </table>							薬 剤 師	2 人							
薬 剤 師	2 人															
成 果	1 定期健康診断等の結果に基づき、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、生徒の健全育成や健康の保持増進が図られた。 2 学校施設における日常点検や定期検査の実施等により、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や必要に応じた対策を講じることができた。															
成果に係る評価	生徒に対して的確な予防指導を行っていくうえで重要な事業であり、今後も続けていく必要がある。また、眼科、耳鼻科などの医師不足が深刻化しており、一人の医師が複数の学校医を兼務している実態もあることから、対応策についても検討していく必要がある。															
(単位：円)																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	2,377,000	2,265,720				2,265,720										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	1 目	学校管理費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ	P20		小 事 業	高等学校保健費				
事業コード	02010205		事 業 名	健康診断・検査等実施事業（高等学校）				
目的及び事業内容	<p>定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、病気等の早期発見に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断の実施 ・飲料水水質検査の実施 							
取 組 実 績	<p>1 生徒の健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科健診、結核健診、心臓病健診、尿検査 定期健康診断については全学年、心臓病健診については、対象学年である1年生に実施した。</p> <p>2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄 高等学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。</p>							
成 果	<p>定期健康診断を行い、生徒の病気の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し健康管理に努めた。また、学校の上水道を飲料水としていることから、水質検査を行うことで、安全な環境の維持を図った。</p> <p>1 定期健康診断 高校生 756人 心臓病健診 1年生 223人</p> <p>2 飲料水水質検査 高等学校 2校</p>							
成果に係る評価	<p>生徒の健康を保持・増進していくためには不可欠な事業であり、今後も続けていく必要がある。また、近年、生活習慣や食生活の乱れなどの理由により、肥満や生活習慣病といった病気の低年齢化が進み、社会的な問題となっていることから、今後は定期健診や各種検査のあり方についても検討していく必要がある。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,258,360		1,094,927					1,094,927

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()												
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()												
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()												
実施計画掲載ページ	P24 P26		小 事 業	高等学校教育用コンピューター関係費															
事業コード	02010313 02010370		事 業 名	情報教育環境整備事業（高等学校） 電子黒板整備事業（高等学校）															
目的及び事業内容	<p>国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内高等学校の教育用コンピューターや周辺機器の更新及び賃貸借（購入又はリース）</p>																		
取 組 実 績	<p>高等学校教育用コンピューター整備状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">整備年度</th> <th colspan="2">整備内容</th> </tr> <tr> <th>教育用コンピューター</th> <th>電子黒板</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17</td> <td>市立女子高： 58台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>市立女子商： 147台</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成20～24年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。</p>								整備年度	整備内容		教育用コンピューター	電子黒板	H17	市立女子高： 58台		H19	市立女子商： 147台	
整備年度	整備内容																		
	教育用コンピューター	電子黒板																	
H17	市立女子高： 58台																		
H19	市立女子商： 147台																		
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒がITの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。 ・情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。 ・各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。 																		
成果に係る評価	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校の教育用コンピューターについては、文科省の整備基準（生徒3.6人に1台、普通教室・特別教室に校内LANの設置）を定めているが、石巻市の現状に即した有効的な整備内容を考察しながら、計画的に整備する。 ・電子黒板等の最新のICT機器の整備については、石巻市情報教育推進委員会において、使用する教員が使いやすく、児童生徒にわかりやすい授業が展開できる製品を選定するとともに運用方法についても検討している。 																		
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳														
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
	2,594,000		2,359,653					2,359,653											

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()													
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()													
	1 目	幼稚園費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()													
実施計画掲載ページ		P19	小 事 業	幼稚園保健費																
事業コード		02010204	事 業 名	学校医・薬剤師配置事業（幼稚園）																
目的及び事業内容		各幼稚園に幼稚園医等を配置し定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することにより、幼児に係る疾病の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。 ・幼稚園医の配置 ・幼稚園薬剤師の配置																		
取組実績		1 幼稚園医の配置 市立幼稚園5園に、幼稚園医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施 ・委嘱した幼稚園医の人数 <table border="1"> <tr><td>内 科 医</td><td>4 人</td></tr> <tr><td>眼 科 医</td><td>3 人</td></tr> <tr><td>耳 鼻 科 医</td><td>3 人</td></tr> <tr><td>歯 科 医</td><td>4 人</td></tr> <tr><td>計</td><td>14 人</td></tr> </table> 2 幼稚園薬剤師の配置 市立幼稚園5園に、薬剤師を委嘱し、飲料水の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施 ・委嘱した幼稚園薬剤師の人数 <table border="1"> <tr><td>薬 剤 師</td><td>5 人</td></tr> </table>							内 科 医	4 人	眼 科 医	3 人	耳 鼻 科 医	3 人	歯 科 医	4 人	計	14 人	薬 剤 師	5 人
内 科 医	4 人																			
眼 科 医	3 人																			
耳 鼻 科 医	3 人																			
歯 科 医	4 人																			
計	14 人																			
薬 剤 師	5 人																			
成 果		1 定期健康診断等の結果に基づき、保護者、幼稚園に対して的確な指導と助言が行われ、幼児の健全育成や健康の保持増進が図られた。 2 幼稚園施設における日常点検や定期検査の実施等により、幼稚園内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された園内環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。																		
成果に係る評価		幼児に対して的確な予防指導を行っていくうえで重要な事業であり、今後も続けていく必要がある。また、眼科、耳鼻科などの医師不足が深刻化しており、一人の医師が複数の幼稚園医を兼務している実態もあることから、対応策についても検討していく必要がある。																		
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳															
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	2,688,000		2,620,480					2,620,480												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	1 目	幼稚園費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P20	小 事 業	幼稚園保健費				
事業コード		02010205	事 業 名	健康診断・検査等実施事業（幼稚園）				
目的及び事業内容		定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、幼児の健康の保持増進を図り、病気等の早期発見に努める。 ・定期健康診断の実施 ・飲料水水質検査の実施						
取組実績		1 幼児の健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科健診、結核健診、尿検査、寄生虫卵検査 定期健康診断及び各種検査については、園児全員を対象に実施した。 2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄 幼稚園各園の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。						
成 果		定期健康診断を行い、幼児の病気の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し、健康管理に努めた。また、幼稚園の上水道を飲料水としていることから、水質検査を行うことで、安全な環境の維持を図った。 1 定期健康診断 幼稚園児 254人 2 飲料水水質検査 幼稚園 4園 ※湊幼稚園は住吉幼稚園に間借りしているため、住吉幼稚園と併せて1園分の実施としている。						
成果に係る評価		幼児の健康を保持・増進していくためには不可欠な事業であり、今後も続けていく必要がある。また、近年、生活習慣や食生活の乱れなどの理由により、肥満や生活習慣病といった病気の低年齢化が進み、社会的な問題となっていることから、今後は定期健診や各種検査のあり方についても検討していく必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	378,468		262,643					262,643

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																			
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																			
	1 目	幼稚園費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																			
実施計画掲載ページ		P22	小 事業	私立幼稚園就園奨励費																						
事業コード		02010219	事業名	私立幼稚園就園奨励費助成事業																						
目的及び事業内容		私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者の中で、所得が低い保護者に対して私立幼稚園が行う入園料、保育料の減免措置に対して助成を行うことにより、義務教育就学前における幼児教育の振興を図る。 ・私立幼稚園就園奨励費の助成																								
取組実績		市内に居住している園児の入園料・保育料の減免措置を行っている私立幼稚園（10園）に対し、一部国の補助を受け補助金を交付した。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>対象人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民税非課税世帯</td> <td>119人</td> <td>22,988,700円</td> </tr> <tr> <td>市民税所得割額非課税世帯</td> <td>163人</td> <td>31,753,100円</td> </tr> <tr> <td>市民税所得割額77,100円以下の世帯</td> <td>165人</td> <td>14,749,500円</td> </tr> <tr> <td>市民税所得割額211,200円以下の世帯</td> <td>338人</td> <td>21,518,500円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>785人</td> <td>91,009,800円</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	対象人数	補助金額	市民税非課税世帯	119人	22,988,700円	市民税所得割額非課税世帯	163人	31,753,100円	市民税所得割額77,100円以下の世帯	165人	14,749,500円	市民税所得割額211,200円以下の世帯	338人	21,518,500円	合 計	785人	91,009,800円
区 分	対象人数	補助金額																								
市民税非課税世帯	119人	22,988,700円																								
市民税所得割額非課税世帯	163人	31,753,100円																								
市民税所得割額77,100円以下の世帯	165人	14,749,500円																								
市民税所得割額211,200円以下の世帯	338人	21,518,500円																								
合 計	785人	91,009,800円																								
成 果		私立幼稚園が行う所得が低い入園児の保護者に対する入園料、保育料の減免措置に対して助成することにより、就園する保護者の経済的負担を軽減し、義務教育就学前における幼児教育の振興に資することができた。 なお、東日本大震災により被災した幼児の保護者に対する保育料等の減免に対する支援は、宮城県が「私立学校授業料等軽減特別事業」として実施していたが、平成24年度に対象者が見直され、借家被害等については市事業として実施することとなったことから、平成23年度と比較し本市が行う私立幼稚園就園奨励費の対象者数が大幅に増となった。 (補助内訳) 就園奨励費補助金 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>1,143人</td> <td>97,359,700円</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>456人</td> <td>38,912,300円</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>785人</td> <td>91,009,800円</td> </tr> </tbody> </table>							区分	対象人数	補助金額	H22	1,143人	97,359,700円	H23	456人	38,912,300円	H24	785人	91,009,800円						
区分	対象人数	補助金額																								
H22	1,143人	97,359,700円																								
H23	456人	38,912,300円																								
H24	785人	91,009,800円																								
成果に係る評価		本市幼児教育の普及充実と保護者の経済的負担を軽減することを目的とした事業であり、私立幼稚園の実情に即した支援に努めていかなければならない。 なお、東日本大震災により被災した幼児の保護者に対する保育料等の減免に対する支援は、宮城県が「私立学校授業料等軽減特別事業」として平成26年度まで実施する予定とされており、その後の事業実施に当たっては、本市の復興状況に応じて事業内容の見直しが必要となる。																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	94,991,000	91,009,800	48,190,000			42,819,800																				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																									
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																									
	1 目	幼稚園費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																									
実施計画掲載ページ		P19	小 事業	私立幼稚園運営費助成費																												
事業コード		02010202	事業名	私立幼稚園運営費助成事業																												
目的及び事業内容		市内で開園している私立幼稚園の設置者に対し、運営費の一部を助成することにより、義務教育就学前の幼児教育振興に寄与している私立幼稚園の健全な経営及び保護者の負担の軽減を図る。 ・私立幼稚園運営費の助成 幼稚園割 1園 160,000円 職員割 1人 30,000円 園児割 1人 1,200円																														
取組実績		市内で開園している私立幼稚園設置者に対し、運営費の一部の助成を行った。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日和幼稚園</td> <td>398,800円</td> </tr> <tr> <td>穀町幼稚園</td> <td>954,400円</td> </tr> <tr> <td>法山寺幼稚園</td> <td>613,600円</td> </tr> <tr> <td>石巻カトリック幼稚園</td> <td>725,200円</td> </tr> <tr> <td>石巻みずほ幼稚園</td> <td>874,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻みずほ第二幼稚園</td> <td>402,400円</td> </tr> <tr> <td>ひばり幼稚園</td> <td>1,264,000円</td> </tr> <tr> <td>栄光幼稚園</td> <td>428,800円</td> </tr> <tr> <td>長浜幼稚園</td> <td>373,600円</td> </tr> <tr> <td>万石浦幼稚園</td> <td>496,000円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>6,530,800円</td> </tr> </tbody> </table>							区分	運営費補助金	日和幼稚園	398,800円	穀町幼稚園	954,400円	法山寺幼稚園	613,600円	石巻カトリック幼稚園	725,200円	石巻みずほ幼稚園	874,000円	石巻みずほ第二幼稚園	402,400円	ひばり幼稚園	1,264,000円	栄光幼稚園	428,800円	長浜幼稚園	373,600円	万石浦幼稚園	496,000円	合 計	6,530,800円
区分	運営費補助金																															
日和幼稚園	398,800円																															
穀町幼稚園	954,400円																															
法山寺幼稚園	613,600円																															
石巻カトリック幼稚園	725,200円																															
石巻みずほ幼稚園	874,000円																															
石巻みずほ第二幼稚園	402,400円																															
ひばり幼稚園	1,264,000円																															
栄光幼稚園	428,800円																															
長浜幼稚園	373,600円																															
万石浦幼稚園	496,000円																															
合 計	6,530,800円																															
成 果		義務教育就学前の幼児教育を担う私立幼稚園の健全な運営及び保護者の負担軽減に資することができた。 (助成内訳) 運営費補助金 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>7,092,400円</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>6,302,800円</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>6,530,800円</td> </tr> </tbody> </table>							区分	運営費補助金	H22	7,092,400円	H23	6,302,800円	H24	6,530,800円																
区分	運営費補助金																															
H22	7,092,400円																															
H23	6,302,800円																															
H24	6,530,800円																															
成果に係る評価		本市幼児教育の推進を図ることを目的とした事業であり、私立幼稚園の活動内容や運営の実情に即した支援に努めていかなければならない。																														
(単位：円)																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	7,045,000	6,530,800				6,530,800																										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる							
	5 項	幼稚園費		第 節		(1)	未来の人を育てる							
	2 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興							
実施計画掲載ページ	P 167		小 事 業	被災園児通園支援事業費										
事業コード	40-101-001-228		事 業 名	通学支援事業（幼稚園）										
目的及び事業内容	東日本大震災により幼稚園が被災したことにより間借り園に通園することとなった園児に対し、安全、安心に通学できる環境を提供することを目的とし、スクールバスの運行による通園支援を実施する。													
取 組 実 績	東日本大震災により被災した幼稚園から間借り園まで通園することとなった園児に対し、スクールバスの運行による通園支援を実施した。													
	(支援実績)													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>幼稚園数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スクールバス</td> <td>1園</td> <td>10人</td> <td>6,111,000円</td> </tr> </tbody> </table>							区分	幼稚園数	対象人数	金額	スクールバス	1園	10人
区分	幼稚園数	対象人数	金額											
スクールバス	1園	10人	6,111,000円											
(支援の状況)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>幼稚園名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>湊幼稚園</td> <td>住吉幼稚園へ間借り</td> </tr> </tbody> </table>							幼稚園名	状 況	湊幼稚園	住吉幼稚園へ間借り				
幼稚園名	状 況													
湊幼稚園	住吉幼稚園へ間借り													
成 果	東日本大震災により被災した幼稚園から間借り園まで通園することとなった園児に対し、スクールバスの運行による通園支援を実施したことにより、安全、安心に通園できる環境を提供することができた。													
成果に係る評価	被災した幼稚園から間借り園まで通園することとなった園児に対しての通園支援が図られ、安全・安心に通園することができた。 今後は、幼稚園の再建状況を見ながら事業を継続していく。													
(単位：円)														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源								
	6,300,000	6,111,000				6,111,000								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる												
	6 項	社会教育費		第 節		(1)	未来の人を育てる												
	1 目	社会教育総務費		()		(3)	子どものケアの実施												
実施計画掲載ページ	P 183		小 事 業	社会教育事務費															
事業コード	40-103-002-283		事 業 名	家庭教育支援事業															
目的及び事業内容	子育てサポーター及び子育てサポーターリーダーなどの身近な人たちによる「家庭教育支援チーム」を組織し、孤立しがちな保護者や仕事で忙しい保護者など、地域とのコミュニケーションや学習の機会等になかなか参加できない保護者や家庭に対する支援を行う。																		
取 組 実 績	1 仮設団地集会所における親子参加型の活動（子育てサロン）																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施期間</td> <td>平成23年9月～平成24年3月</td> <td>平成24年4月～平成25年3月</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>8回</td> <td>20回</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>延べ61組 延べ153人</td> <td>延べ24組 延べ530人</td> </tr> </tbody> </table>							年 度	平成23年度	平成24年度	実施期間	平成23年9月～平成24年3月	平成24年4月～平成25年3月	実施回数	8回	20回	参加人数	延べ61組 延べ153人	延べ24組 延べ530人
	年 度	平成23年度	平成24年度																
実施期間	平成23年9月～平成24年3月	平成24年4月～平成25年3月																	
実施回数	8回	20回																	
参加人数	延べ61組 延べ153人	延べ24組 延べ530人																	
2 親の学び講座(母親対象)ノーバディーズ・パーフェクトプログラム研修																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>3回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>28人</td> <td>44人</td> </tr> </tbody> </table>							年 度	平成23年度	平成24年度	実施回数	3回	3回	参加人数	28人	44人				
年 度	平成23年度	平成24年度																	
実施回数	3回	3回																	
参加人数	28人	44人																	
3 家庭教育支援研究協議会 参加者数 3人（家庭教育支援チーム2人 随行者1人）																			
成 果	被災により多くの社会教育施設が使用不能であるため、仮設住宅団地の集会所を会場として平成23年9月から親子参加型の活動を継続してきた。 この結果、家庭教育支援チームの活動が徐々に市民に知られるようになり、参加する親子が着実に増加してきている。また、市内のNPOや子育てサークルとの連携により内容も充実した。																		
成果に係る評価	平成23年9月から実施した事業であるが、家庭教育支援チームの活動が知られるようになり多くの親子が参加するようになった。また、市内のNPO及び子育てサークルとの連携により繋がりや輪が広がるとともに、内容も充実してきている。 震災により生活環境の変化等による子育ての不安をサポートするため、当事業の成果は大きい。参加者の増加に伴い、支援者の確保が課題であり、今年度下半期より教育委員会主催のサポーター研修会を開催する予定である。																		
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	402,657	402,657	402,657																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		()	
	1 目	社会教育総務費		(2)	青少年を健全に育成する		()	
実施計画掲載ページ	P28		小 事 業	少年指導者育成費				
事業コード	02020202		事 業 名	少年指導者育成事業				
目的及び事業内容	<p>子ども会活動等地域における望ましい体験活動の指導・支援を行う青年ボランティアとしてのジュニア・リーダー及びインリーダーの育成を通して、青少年の健全育成を図る。</p> <p>宮城県教育委員会が定める「ジュニア・リーダー初級研修内容」に準拠した研修会を開催し、ジュニア・リーダー（中高生）を養成する。受講修了者には宮城県教育委員会が発行するジュニア・リーダー手帳及び初級研修修了証を授与する。</p> <p>市内子ども会育成会等から要請を受けボランティアとして派遣、子どもたちの指導等を行う。</p>							
取組実績	1 ジュニア・リーダー育成のための研修会の実施、支援							
	(1) ジュニア・リーダー初級研修会の主催							
	No.	事業名	開催日	実施場所	修了者			
	1	初級研修会 I	7月21日（土）～23日（月）	花山少年自然の家	8人			
	(2) ジュニア・リーダー中級研修会及び上級研修会への参加支援							
	No.	事業名	開催日	実施場所	修了者			
	1	中級研修会	8月17日（金）～18日（土）	県志津川自然の家	16人			
	2	上級研修会	12月25日（火）～27日（木）	県志津川自然の家	5人			
	(3) ジュニア・リーダーのスキルアップのための研修事業参加支援及び研修機会の創出							
	No.	事業名	開催日	実施場所	参加者			
1	第1回代表者会議	6月17日（日）	県青年会館	2人				
2	東北子ども会JL大会	8月3日（金）～5日（日）	仙台市泉ヶ岳少年の家	1人				
3	石巻市JL研修会	8月8日（水）～10日（金）	京都市内	29人				
4	みやぎJL交流会(第1回)	5月20日（日）	岩沼市体育館	2人				
5	第1回JLフェスティバル	9月22、23日（土・日）	東仙台小学校	8人				
6	第2回代表者会議	12月2日（日）	県青年会館	1人				
7	宮城県JL技術研修会	7月1日（日）・10月7日（日）	県青年会館	5人				
2 ジュニア・リーダーのボランティア活動支援								
<p>市内子ども会育成会等から要請を受けボランティアとして派遣、子どもたちの指導等を行った。</p> <p>団体による申請数：79回 派遣したジュニア・リーダー数（延べ）：366人 会員数：104人</p>								
成 果	<p>ジュニア・リーダーの中心的活動である子ども会からの派遣要請は震災前より減少したが、復興支援に取り組む団体の活動や市の家庭教育支援事業等に積極的にかかわることにより、活動内容の充実とジュニア・リーダーとしての資質向上を図ることができた。</p>							
成果に係る評価	<p>これまでの積極的な取り組みが少しずつ市民に認識されるようになってきておりジュニア・リーダー活動に対する需要は増加するものと予想され、子どもたちの健全育成並びに子ども会活動の活性化に資する効果は大きいと考える。</p> <p>また、多くの活動を経験することにより、リーダーとしての自覚と資質向上が期待でき、将来の石巻のリーダーとなる人材育成という点についても大きな意義があると考えられる。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	466,043	323,163				323,163		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()	
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		()	
	1 目	社会教育総務費		(1)	多様な文化芸術活動の広がりや交流を推進する		()	
実施計画掲載ページ	P85		小 事 業	芸術文化振興費				
事業コード	05030103		事 業 名	青少年文化芸術鑑賞事業				
目的及び事業内容	<p>芸術鑑賞の機会に恵まれない地域の青少年に対し、優れた生の芸術を鑑賞してもらい、豊かな情操を涵養する。</p> <p>学校の総合的学習時間等を利用して、優秀な舞台芸術の鑑賞機会を提供し、感受性豊かな人間としての育成を図る。</p>							
取組実績	1 巡回小劇場							
	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数				
	9月20日	飯野川第二小学校	劇団野ばら 創作劇	飯野川第二小学校（児童50名）				
	9月25日	鮎川小学校	劇団野ばら 創作劇	鮎川小学校・大原小学校・寄磯小学校（児童85名）				
	9月26日	稲井小学校	劇団野ばら 創作劇	渡波小学校（児童257名）				
	2 青少年劇場小公演							
	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数				
	9月5日	橋浦小学校	ヴァイオリンとチェロの演奏会	相川小学校・橋浦小学校・吉浜小学校（児童144名）				
	9月5日	向陽小学校	ヴァイオリンとチェロの演奏会	向陽小学校（児童106名）				
	9月6日	荻浜中学校	ヴァイオリンとチェロの演奏会	東浜小学校・荻浜小学校・荻浜中学校（児童生徒36名）				
9月7日	広淵小学校	ヴァイオリンとチェロの演奏会	広淵小学校（児童166名）					
3 子どものための優れた舞台芸術体験事業								
開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数					
10月1日	相川小学校	劇団ボブラ ミュージカル オズの魔法使い	相川小学校・橋浦小学校・吉浜小学校（児童142名）					
10月2日	鮎川小学校	劇団ボブラ ミュージカル オズの魔法使い	鮎川小学校（児童45名）					
10月16日	飯野川中学校	大阪交響楽団	飯野川中学校（生徒143名）					
12月3日	飯野川第一小学校	中部フィルハーモニー交響楽団	飯野川第一小学校・大川小学校（児童169名）					
2月6日	稲井小学校	劇団仲間「カモメに飛ぶことを教えた猫」	稲井小学校（児童338名）					
2月21日	和淵小学校	(社)落語芸術協会 落語「饅頭こわい」他	和淵小学校（児童119名）					
成 果	<p>児童・生徒に対し、優れた生の芸術を鑑賞する機会を提供することにより、情操を養い豊かな人間形成に寄与した。</p>							
成果に係る評価	<p>巡回小劇場等は、宮城県などが行うもので、市町村が一部の経費を負担するだけで質の高い芸術を小中学生へ提供できることから、今後とも継続していく。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	1,161,995	1,076,250				1,076,250		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																							
	6 項	社会教育費		第 節		(1)	未来の人を育てる																							
	1 目	社会教育総務費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																							
実施計画掲載ページ	P179		小 事業	芸術文化振興費																										
事業コード	40-101-004-266		事業名	市民の文化芸術活動に対するサポート事業																										
目的及び事業内容	芸術文化の推進には、市民団体である文化協会と行政が協働して推進することが重要であり、その活動を通じて地域の芸術文化の発展を助長するとともに、地域文化の振興と向上に寄与する。文化協会は今後とも本市の芸術文化の推進に欠かさない民間団体である。																													
取組実績	1 石巻市文化協会の運営の支援 以下の目的のため設立した石巻市文化協会の運営を支援した。 (1) 地域の芸術文化の発展を助長するとともに、その活動を通じて地域文化の振興と向上に寄与する。 (2) 芸術文化団体相互の連絡調整を図る。 (3) 内外の優れた芸術団体の交流 (4) 歴史・伝統・文化を生かした街づくりの推進に寄与する。																													
	2 石巻市文化協会の概要 (平成24年4月1日現在)																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設立年月日</th> <th>加盟団体数</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市文化協会</td> <td>平成17年6月18日</td> <td>約180団体</td> <td>約5,800人</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 震災の影響により休会中の団体及び会員数等把握できない現状であるが、震災前は団体数約200、会員数約6,000人であり、減少分を考慮し推定団体数・会員数を計上した。</p>							名称	設立年月日	加盟団体数	会員数	石巻市文化協会	平成17年6月18日	約180団体	約5,800人															
	名称	設立年月日	加盟団体数	会員数																										
石巻市文化協会	平成17年6月18日	約180団体	約5,800人																											
3 主要事業																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>開催期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>さつき盆栽展 (桃生)</td> <td>平成24年6月9日～10日</td> </tr> <tr> <td>かなん文化まつり</td> <td>平成24年10月14日</td> </tr> <tr> <td>石巻市合同文化祭 (北上文化祭)</td> <td>平成24年10月20日～21日</td> </tr> <tr> <td>芸能音楽祭 (河北)</td> <td>平成24年10月28日</td> </tr> <tr> <td>作品展示会・神楽大会 (河北)</td> <td>平成24年11月1日～4日</td> </tr> <tr> <td>かなんまつり</td> <td>平成24年11月3日</td> </tr> <tr> <td>桃生地区文化祭</td> <td>平成24年11月3日～4日</td> </tr> <tr> <td>文房四宝まつり (雄勝)</td> <td>平成24年11月24日～25日</td> </tr> <tr> <td>桃生地区芸能祭</td> <td>平成25年1月27日</td> </tr> <tr> <td>伝統・伝承を考えるワークショップ</td> <td>平成25年2月24日</td> </tr> <tr> <td>東日本大震災追悼式典</td> <td>平成25年3月11日</td> </tr> </tbody> </table>							事業名	開催期間	さつき盆栽展 (桃生)	平成24年6月9日～10日	かなん文化まつり	平成24年10月14日	石巻市合同文化祭 (北上文化祭)	平成24年10月20日～21日	芸能音楽祭 (河北)	平成24年10月28日	作品展示会・神楽大会 (河北)	平成24年11月1日～4日	かなんまつり	平成24年11月3日	桃生地区文化祭	平成24年11月3日～4日	文房四宝まつり (雄勝)	平成24年11月24日～25日	桃生地区芸能祭	平成25年1月27日	伝統・伝承を考えるワークショップ	平成25年2月24日	東日本大震災追悼式典	平成25年3月11日
事業名	開催期間																													
さつき盆栽展 (桃生)	平成24年6月9日～10日																													
かなん文化まつり	平成24年10月14日																													
石巻市合同文化祭 (北上文化祭)	平成24年10月20日～21日																													
芸能音楽祭 (河北)	平成24年10月28日																													
作品展示会・神楽大会 (河北)	平成24年11月1日～4日																													
かなんまつり	平成24年11月3日																													
桃生地区文化祭	平成24年11月3日～4日																													
文房四宝まつり (雄勝)	平成24年11月24日～25日																													
桃生地区芸能祭	平成25年1月27日																													
伝統・伝承を考えるワークショップ	平成25年2月24日																													
東日本大震災追悼式典	平成25年3月11日																													
4 避難所への慰問 出前演芸大会 (河南文化協会) 平成24年5月26日																														
成果	文化協会及び文化団体の事業を支援することにより、芸術文化の振興と地域に根ざした伝統文化の保存継承が図られた。																													
成果に係る評価	東日本大震災で壊滅的な打撃を受けた協会もあるが、それぞれの地域に根ざした活動も続けていく必要があり、今後とも石巻市文化協会に対しては継続して支援していく必要がある。																													
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	1,645,000	1,645,000				1,645,000																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	復興計画	()	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																											
	6 項	社会教育費		第 2 節		()	地域全体で子どもたちを育成する																																											
	1 目	社会教育総務費		(1)		()	地域・家庭の教育力を強化する																																											
実施計画掲載ページ	P27		小 事業	家庭教育学級開設費																																														
事業コード	02020103		事業名	家庭教育学級開設事業																																														
目的及び事業内容	家庭や両親のあり方、子どもの心身の成長と子育て、子どもの成長と家庭環境等、家庭教育に関する学習の機会を提供し、子育てについての理解を深め、望ましい家庭教育ができるようにする。幼稚園、小・中学校の保護者を対象として、各幼稚園・学校単位のニーズにあった内容で学級を開設する。また、震災で傷ついた保護者や子供の心のケアを図り、人間同士の関わり方を学ぶ機会を設ける。																																																	
取組実績	家庭や両親のあり方、子どもの心身の成長と子育て、子どもの成長と家庭環境等、家庭教育に関する学習機会を提供し、子育てについての理解を深め、望ましい家庭教育ができるよう家庭教育学級を開設した。																																																	
	1 開設機関 各地区 (石巻、河北、雄勝、河南、桃生、北上、牡鹿) の公民館等 2 実施機関 各地区の幼稚園 (私立も含む)、小学校、中学校 3 開設状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>学級数</th> <th>開設学級数</th> <th>開設回数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻地区</td> <td>56学級</td> <td>35学級</td> <td>76回</td> <td>5,710人</td> </tr> <tr> <td>河北地区</td> <td>13学級</td> <td>7学級</td> <td>13回</td> <td>698人</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区</td> <td>5学級</td> <td>5学級</td> <td>7回</td> <td>96人</td> </tr> <tr> <td>河南地区</td> <td>14学級</td> <td>14学級</td> <td>28回</td> <td>1,819人</td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>6学級</td> <td>6学級</td> <td>14回</td> <td>2,028人</td> </tr> <tr> <td>北上地区</td> <td>7学級</td> <td>4学級</td> <td>7回</td> <td>265人</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区</td> <td>5学級</td> <td>4学級</td> <td>9回</td> <td>184人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>106学級</td> <td>75学級</td> <td>154回</td> <td>10,800人</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	学級数	開設学級数	開設回数	参加者	石巻地区	56学級	35学級	76回	5,710人	河北地区	13学級	7学級	13回	698人	雄勝地区	5学級	5学級	7回	96人	河南地区	14学級	14学級	28回	1,819人	桃生地区	6学級	6学級	14回	2,028人	北上地区	7学級	4学級	7回	265人	牡鹿地区	5学級	4学級	9回	184人	計	106学級	75学級	154回
区 分	学級数	開設学級数	開設回数	参加者																																														
石巻地区	56学級	35学級	76回	5,710人																																														
河北地区	13学級	7学級	13回	698人																																														
雄勝地区	5学級	5学級	7回	96人																																														
河南地区	14学級	14学級	28回	1,819人																																														
桃生地区	6学級	6学級	14回	2,028人																																														
北上地区	7学級	4学級	7回	265人																																														
牡鹿地区	5学級	4学級	9回	184人																																														
計	106学級	75学級	154回	10,800人																																														
成果	受講生のニーズに配慮した学習課題の設定と多様な学習方法の実施により、子どもの心身の発達に即した子育てや家庭学級のあり方についての理解が深まり、豊かな知識と情操、社会性を養うことができた。 なお、東日本大震災により家庭教育学級の活動に支障をきたしている学校等があるため、より一層支援をしていく必要がある。																																																	
成果に係る評価	地域連帯の希薄化、核家族化などにより子どもを育てる環境は悪化しているため、地域・学校・家庭の交流の場づくりや学習支援や学習情報の提供が重要になってきている。今後も、地域・学校・家庭の連携強化を図るとともに、家庭教育の大切さを理解していただきながら、家庭教育の担い手である親への学習機会や学習内容、情報提供等を一層充実していく。 なお、未実施機関については、事業の必要性を理解していただき実施するよう働きかけ、学級開設の範囲拡大に努めていく。																																																	
(単位：円)																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	698,000	698,000	698,000																																															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																						
	6 項	社会教育費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																						
	1 目	社会教育総務費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																						
実施計画掲載ページ	P22		小 事 業	子ども読書活動推進費																									
事業コード	02010218		事 業 名	ブックスタート事業																									
目的及び事業内容	乳幼児期からの過程における読書活動の推進方策の一環として、乳幼児期に絵本との出会いの機会を創出し、さらには絵本の選び方や読み聞かせの方法についての保護者へ啓発を行う。																												
取組実績	<p>健康推進課で行っている3～4か月児健診の場において、乳児と保護者に対し、公募によるボランティアの読み聞かせを行いながら、ブックスタートパックを配付した。</p> <table border="1"> <tr> <td>3～4か月児健診</td> <td>対象者数</td> <td>1,056人</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>受診者数</td> <td>1,025人</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック配付者数</td> <td></td> <td>1,025人</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック配付率(対対象者)</td> <td></td> <td>97.1%</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック配付率(対受診者)</td> <td></td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせボランティア会員数</td> <td></td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせボランティア延べ参加者数</td> <td></td> <td>192人</td> </tr> </table>								3～4か月児健診	対象者数	1,056人	〃	受診者数	1,025人	ブックスタートパック配付者数		1,025人	ブックスタートパック配付率(対対象者)		97.1%	ブックスタートパック配付率(対受診者)		100.0%	読み聞かせボランティア会員数		17人	読み聞かせボランティア延べ参加者数		192人
3～4か月児健診	対象者数	1,056人																											
〃	受診者数	1,025人																											
ブックスタートパック配付者数		1,025人																											
ブックスタートパック配付率(対対象者)		97.1%																											
ブックスタートパック配付率(対受診者)		100.0%																											
読み聞かせボランティア会員数		17人																											
読み聞かせボランティア延べ参加者数		192人																											
成 果	読み聞かせボランティアが乳児に絵本を見せ読み聞かせすると、絵本を目で追い反応を示す。乳児の絵本との出会いに、保護者は一様に驚きの表情を浮かべ目を輝かせる。この絵本との出会いが、乳幼児期から発達段階に応じて習慣的に読み聞かせを行い、本や物語の楽しさや喜びを共有し読書活動を推進する機会を創出することができた。併せて読み聞かせ方法の指導などにより保護者への読み聞かせの啓発を行うことができた。																												
成果に係る評価	この事業は、絵本を配付するだけでなく、3～4か月児健診の場において、ボランティアの方に実際に読み聞かせを行っていただき、その場で配付しているので、ボランティアの確保が必須である。読み聞かせボランティア研修会を3回開催し、「読み聞かせの魅力」・「豊かなことば」との出会いにより、読み聞かせボランティア数の増加に努めた。																												
(単位：円)																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
	2,186,000	2,063,801	66,301			1,997,500																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																																																																	
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		()																																																																																	
	1 目	社会教育総務費		(1)	地域・家庭の教育力を強化する		()																																																																																	
実施計画掲載ページ	P27		小 事 業	協働教育推進事業費																																																																																				
事業コード	02020104		事 業 名	コラボスクール推進委託事業																																																																																				
目的及び事業内容	学校・家庭・地域が協働して、子どもたちの生きる力を育む教育活動の充実・改善を目指し、社会の中でたくましく生きる子どもを地域全体で育む。																																																																																							
取組実績	<p>1. 協働教育支援会議 2 回開催 10月22日 17人出席、2月19日 20人出席</p> <p>2. コラボスクール推進事業(市内小学校区3推進協議会へ委託)</p> <p>(1) 大須小学校区コラボスクール推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活 動 内 容</th> <th>期 日</th> <th>場 所</th> <th>参加延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①伝統芸能継承活動「雄勝法印神楽」</td> <td>4月～10月</td> <td>大須小学校体育館他</td> <td>91人</td> </tr> <tr> <td>②宿泊学習「うみねこキャンプ」</td> <td>7月</td> <td>大須小学校校庭他</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>③農業体験学習「枝豆の収穫と調理」</td> <td>7月～8月</td> <td>飯野川</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>④交流敬老会</td> <td>9月</td> <td>大須小学校特別教室</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>⑤工作教室</td> <td>9月</td> <td>雄勝アカデミー</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>⑥漁業体験学習「ワカメの芯抜き・ホタテの殻むき」</td> <td>10月</td> <td>北上町十三浜</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 鮎川小学校区コラボスクール推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活 動 内 容</th> <th>期 日</th> <th>場 所</th> <th>参加延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①「ふれあい支えあいプロジェクト」</td> <td>4月～3月</td> <td>鮎川小学校体育館他</td> <td>135人</td> </tr> <tr> <td>②伝統芸能継承活動「金華山黒潮太鼓」</td> <td>4月～2月</td> <td>鮎川小学校体育館</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>③伝統芸能継承活動「牡鹿七福神舞」</td> <td>9月～2月</td> <td>鮎川小学校特別教室</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>④「地域協働図書館の整備・運営」</td> <td>8月～12月</td> <td>鮎川小学校図書室</td> <td>125人</td> </tr> <tr> <td>⑤学校支援(生活科)</td> <td>2月</td> <td>仮設住宅集会室</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <td>⑥合同避難訓練</td> <td>7月、11月</td> <td>鮎川小学校校庭他</td> <td>190人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 寄磯小学校区コラボスクール推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活 動 内 容</th> <th>期 日</th> <th>場 所</th> <th>参加延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①「寄磯大運動会」</td> <td>5月</td> <td>寄磯小学校校庭</td> <td>132人</td> </tr> <tr> <td>②祖父母参観</td> <td>9月</td> <td>寄磯小学校各教室</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>③漁業体験</td> <td>10月</td> <td>寄磯漁港</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>④「地域の子どもは地域で守る運動」</td> <td>5月～2月</td> <td>寄磯地区内通学路</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>⑤「地域の子どもは地域で守る運動」</td> <td>12月～1月</td> <td>寄磯小学校体育館</td> <td>80人</td> </tr> </tbody> </table>								活 動 内 容	期 日	場 所	参加延人数	①伝統芸能継承活動「雄勝法印神楽」	4月～10月	大須小学校体育館他	91人	②宿泊学習「うみねこキャンプ」	7月	大須小学校校庭他	40人	③農業体験学習「枝豆の収穫と調理」	7月～8月	飯野川	20人	④交流敬老会	9月	大須小学校特別教室	50人	⑤工作教室	9月	雄勝アカデミー	4人	⑥漁業体験学習「ワカメの芯抜き・ホタテの殻むき」	10月	北上町十三浜	20人	活 動 内 容	期 日	場 所	参加延人数	①「ふれあい支えあいプロジェクト」	4月～3月	鮎川小学校体育館他	135人	②伝統芸能継承活動「金華山黒潮太鼓」	4月～2月	鮎川小学校体育館	40人	③伝統芸能継承活動「牡鹿七福神舞」	9月～2月	鮎川小学校特別教室	20人	④「地域協働図書館の整備・運営」	8月～12月	鮎川小学校図書室	125人	⑤学校支援(生活科)	2月	仮設住宅集会室	55人	⑥合同避難訓練	7月、11月	鮎川小学校校庭他	190人	活 動 内 容	期 日	場 所	参加延人数	①「寄磯大運動会」	5月	寄磯小学校校庭	132人	②祖父母参観	9月	寄磯小学校各教室	30人	③漁業体験	10月	寄磯漁港	34人	④「地域の子どもは地域で守る運動」	5月～2月	寄磯地区内通学路	64人	⑤「地域の子どもは地域で守る運動」	12月～1月	寄磯小学校体育館	80人
活 動 内 容	期 日	場 所	参加延人数																																																																																					
①伝統芸能継承活動「雄勝法印神楽」	4月～10月	大須小学校体育館他	91人																																																																																					
②宿泊学習「うみねこキャンプ」	7月	大須小学校校庭他	40人																																																																																					
③農業体験学習「枝豆の収穫と調理」	7月～8月	飯野川	20人																																																																																					
④交流敬老会	9月	大須小学校特別教室	50人																																																																																					
⑤工作教室	9月	雄勝アカデミー	4人																																																																																					
⑥漁業体験学習「ワカメの芯抜き・ホタテの殻むき」	10月	北上町十三浜	20人																																																																																					
活 動 内 容	期 日	場 所	参加延人数																																																																																					
①「ふれあい支えあいプロジェクト」	4月～3月	鮎川小学校体育館他	135人																																																																																					
②伝統芸能継承活動「金華山黒潮太鼓」	4月～2月	鮎川小学校体育館	40人																																																																																					
③伝統芸能継承活動「牡鹿七福神舞」	9月～2月	鮎川小学校特別教室	20人																																																																																					
④「地域協働図書館の整備・運営」	8月～12月	鮎川小学校図書室	125人																																																																																					
⑤学校支援(生活科)	2月	仮設住宅集会室	55人																																																																																					
⑥合同避難訓練	7月、11月	鮎川小学校校庭他	190人																																																																																					
活 動 内 容	期 日	場 所	参加延人数																																																																																					
①「寄磯大運動会」	5月	寄磯小学校校庭	132人																																																																																					
②祖父母参観	9月	寄磯小学校各教室	30人																																																																																					
③漁業体験	10月	寄磯漁港	34人																																																																																					
④「地域の子どもは地域で守る運動」	5月～2月	寄磯地区内通学路	64人																																																																																					
⑤「地域の子どもは地域で守る運動」	12月～1月	寄磯小学校体育館	80人																																																																																					
成 果	3小学校とも地区全体が震災の被害が大きく残る地域だが、学校・家庭・地域の協働の取り組みにより事業を推進した。協働で様々な活動に取り組むことで児童の「ふるさとを大切にする意識」が高まり、「人と人とのつながりの大切さ」を実感することができた。																																																																																							
成果に係る評価	震災により被害が甚大であった地域においては、学校・地域ともばらばらになり、以前と比べると協働教育の実施が困難になっている。震災から3年目を迎え、復旧期から再生期に入ろうとする今、子供を地域全体で育むために、家庭・地域・学校をつなぐ仕組みづくりを行い、地域の教育力の向上や活性化を図り、地域全体で子どもを育てる協働教育事業の重要性が増すものと考えている。復興に向かう今、地域人材はもちろんのこと外部ボランティアの力も生かしながら、地域活性化につなげていきたい。																																																																																							
(単位：円)																																																																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																		
	900,000	299,306	299,306																																																																																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	6 項	社会教育費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()	
	1 目	社会教育総務費		(2)	創造力を育てる多様な環境をつくる		()	
実施計画掲載ページ	P31		小 事 業	協働教育推進事業費				
事業コード	02030203		事 業 名	ふるさと子どもカレッジ事業				
目的及び事業内容	石巻の自然・文化等の素材を資源として経済的視点で体験し、地域の自然や伝統文化などの学習機会を創出する。							
取 組 実 績	<p>ふるさと子どもカレッジ事業</p> <p>第 1 回（北上川分水流施設（脇谷洗堰・鴉波洗堰））参加者 小学校5・6年生23人 （石巻地区10人、河北地区3人、河南地区8人、桃生地区2人）</p> <p>第 2 回（陶芸体験）参加者 小学校5・6年生24人 （石巻地区11人、河北地区3人、河南地区8人、桃生地区2人）</p> <p>第 3 回（石巻専修大・模擬授業）参加者 小学校5・6年生23人 （石巻地区12人、河北地区3人、河南地区7人、桃生地区1人）</p> <p>第 4 回（石巻の歴史・沼津貝塚・石井閘門）参加者 小学校5・6年生23人 （石巻地区12人、河北地区3人、河南地区7人、桃生地区1人）</p> <p>延べ参加者数 93人</p>							
成 果	各地域の教育力を活用し郷土の自然、文化を体験的に学ぶことにより、豊かな心を育むことができた。当初、4日間8事業を計画したが、震災による影響等で前半4回が中止（応募者少数のため）となった。							
成果に係る評価	震災による影響のため実施回数は少なかったものの、学校の枠を超えて、郷土の自然・文化の良さを改めて知る機会となった。地域人材を活用し、子どもの体験活動を生かしながら豊かな情操の育成が図られた。訪問地は少なかったが、子どもたちが石巻全域に目を向けるきっかけになったと考える。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	149,798	39,670	39,670					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																														
	6 項	社会教育費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()																																														
	1 目	社会教育総務費		(2)	創造力を育てる多様な環境をつくる		()																																														
実施計画掲載ページ	P31		小 事 業	まちなか実験室事業費																																																	
事業コード	02030204		事 業 名	まちなか実験室事業																																																	
目的及び事業内容	子供たちが、科学の不思議さやおもしろさに感動し、さらに学ぶ楽しさを実感させ心豊かな子供たちを育成することを目的とした。科学実験や自然観察、模擬発明、工作に関する内容のほか「石巻さきがけプロジェクト」のPRとして、復興と関連付けた内容とした。																																																				
取 組 実 績	<p>講師、指導者となる団体又は企業を募り、その団体又は企業への委託事業とし、本庁・総合支所単位でそれぞれ実験室を開催した。</p> <p>1 公募によるまちなか実験室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催場所</th> <th>開催月日</th> <th>内 容</th> <th>参加人数</th> <th>満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石 巻 地 区</td> <td>11月6日ほか4日</td> <td>水に溶ける気体 ほか</td> <td>87人</td> <td>調査未実施</td> </tr> <tr> <td>河 北 地 区</td> <td>11月23日</td> <td>おもりのはたらき</td> <td>25人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>雄 勝 地 区</td> <td>10月4日ほか1日</td> <td>電気のフシギ 科学実験&工作教室</td> <td>43人</td> <td>88.4%</td> </tr> <tr> <td>河 南 地 区</td> <td>10月6日</td> <td>カヌーに乗って自然観察</td> <td>38人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>桃 生 地 区</td> <td>11月17日</td> <td>楽しい原子・分子の世界</td> <td>22人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>北 上 地 区</td> <td>10月16日ほか1日</td> <td>水の浸食・運搬・堆積作用</td> <td>55人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>牡 鹿 地 区</td> <td>11月27日</td> <td>花火作り</td> <td>13人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>7 地区</td> <td></td> <td></td> <td>283人</td> <td>97.8%</td> </tr> </tbody> </table>								開催場所	開催月日	内 容	参加人数	満足度	石 巻 地 区	11月6日ほか4日	水に溶ける気体 ほか	87人	調査未実施	河 北 地 区	11月23日	おもりのはたらき	25人	100.0%	雄 勝 地 区	10月4日ほか1日	電気のフシギ 科学実験&工作教室	43人	88.4%	河 南 地 区	10月6日	カヌーに乗って自然観察	38人	100.0%	桃 生 地 区	11月17日	楽しい原子・分子の世界	22人	100.0%	北 上 地 区	10月16日ほか1日	水の浸食・運搬・堆積作用	55人	100.0%	牡 鹿 地 区	11月27日	花火作り	13人	100.0%	7 地区			283人	97.8%
開催場所	開催月日	内 容	参加人数	満足度																																																	
石 巻 地 区	11月6日ほか4日	水に溶ける気体 ほか	87人	調査未実施																																																	
河 北 地 区	11月23日	おもりのはたらき	25人	100.0%																																																	
雄 勝 地 区	10月4日ほか1日	電気のフシギ 科学実験&工作教室	43人	88.4%																																																	
河 南 地 区	10月6日	カヌーに乗って自然観察	38人	100.0%																																																	
桃 生 地 区	11月17日	楽しい原子・分子の世界	22人	100.0%																																																	
北 上 地 区	10月16日ほか1日	水の浸食・運搬・堆積作用	55人	100.0%																																																	
牡 鹿 地 区	11月27日	花火作り	13人	100.0%																																																	
7 地区			283人	97.8%																																																	
成 果	身近な「なぜ(疑問)？」から仮説を立て、実験の目的・方法を定め実験し結果を考察し次の仮説へ向かう。解き明かす一連の行為により、解き明かす自主性と創造する心を育み、子どもの科学に対する興味関心を高めることができた。																																																				
成果に係る評価	多くの子どもたちが科学に対する興味・関心があるということを知ることができた。今後も子どもたちに科学実験等の体験の機会を提供するため、企画や運営について更なる検討をしていく必要がある。																																																				
(単位：円)																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																															
	600,000	430,228				430,228																																															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																		
	6 項	社会教育費		第 節		(1)	未来の人を育てる																		
	2 目	文化財保護費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																		
実施計画掲載ページ	P177		小 事 業	齋藤氏庭園整備事業費																					
事業コード	40-101-003-260		事 業 名	国指定名勝齋藤氏庭園復旧事業																					
目的及び事業内容	<p>1 齋藤氏庭園の保存修復を図るために、「保存管理計画策定委員会」を設置する。</p> <p>2 齋藤氏庭園保存整備事業委託業務の実施。</p>																								
取組実績	<p>1 保存管理計画策定委員会の開催 (1) 日 時 : 平成25年3月21日 (2) 委 員 : 5名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>氏 名</th> <th>所 属</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栗野 隆</td> <td>東京農業大学地域環境科学部 助教</td> <td>庭園史、文化財庭園の保存整備に関する学識経験者</td> </tr> <tr> <td>永井 康雄</td> <td>山形大学地域教育文化学部 教授</td> <td>建築史、文化財建造物の保存整備に関する学識経験者(東北地方)</td> </tr> <tr> <td>森山 雅幸</td> <td>宮城大学食産業学部 教授</td> <td>都市景観に関する学識経験者</td> </tr> <tr> <td>平川 新</td> <td>東北大学災害科学国際研究所 所長</td> <td>石巻地域の近世・近代</td> </tr> <tr> <td>谷川 正明</td> <td>石巻市文化財保護委員会 議長</td> <td>石巻市文化財保護委員</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 齋藤氏庭園保存整備事業委託業務(庭園内の建造物現況調査と建造物保存修復計画策定業務)の実施</p>							氏 名	所 属	備 考	栗野 隆	東京農業大学地域環境科学部 助教	庭園史、文化財庭園の保存整備に関する学識経験者	永井 康雄	山形大学地域教育文化学部 教授	建築史、文化財建造物の保存整備に関する学識経験者(東北地方)	森山 雅幸	宮城大学食産業学部 教授	都市景観に関する学識経験者	平川 新	東北大学災害科学国際研究所 所長	石巻地域の近世・近代	谷川 正明	石巻市文化財保護委員会 議長	石巻市文化財保護委員
	氏 名	所 属	備 考																						
栗野 隆	東京農業大学地域環境科学部 助教	庭園史、文化財庭園の保存整備に関する学識経験者																							
永井 康雄	山形大学地域教育文化学部 教授	建築史、文化財建造物の保存整備に関する学識経験者(東北地方)																							
森山 雅幸	宮城大学食産業学部 教授	都市景観に関する学識経験者																							
平川 新	東北大学災害科学国際研究所 所長	石巻地域の近世・近代																							
谷川 正明	石巻市文化財保護委員会 議長	石巻市文化財保護委員																							
成 果	<p>1 齋藤氏庭園の保存管理計画策定に向けて、それぞれ専門的な見地からの意見が提出された。</p> <p>2 庭園内の建造物について、破損の状況と必要な修理の概要が明らかになった。</p>																								
成果に係る評価	<p>抜本的な保存修復については、現況と必要な修理の概要を踏まえ、文化庁の指導を受けながら、保存管理計画策定委員会の意見を参考に、実施していく。</p>																								
(単位:円)																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	136,381,000	15,648,509				15,648,509																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	復興計画	()																					
	6 項	社会教育費		第 4 節		市民が個性を活かして輝ける機会をつくる	()																				
	4 目	図書館費		(1)		市民の主体的な学習活動を支援する	()																				
実施計画掲載ページ	P86		小 事 業	図書館活動費																							
事業コード	05040108		事 業 名	読書環境整備事業〔住民生活〕																							
目的及び事業内容	<p>図書館法第3条に基づき、必要な資料を収集し住民の利用に供する。公立図書館は「図書、記録その他必要な資料・情報を収集、整理、保存して、地域住民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するとともに、住民の教育と文化の発展に寄与する」ことを目的とされている。これらを踏まえながら市民の要望に応えるため、有用な図書資料や情報の収集・提供に努め図書館サービスを推進する。</p>																										
取組実績	<p>1 新刊書を中心とした図書資料の購入・貸出 (1) 新刊書を中心に、図書館で選定した図書及び利用者からのリクエストに基づいた図書資料を購入し、市民に提供した。 (2) 新着図書コーナーに、新着図書の一覧を掲示することによって、新刊図書等の利用促進が図られた。</p> <p>2 レファレンス等による関連図書資料の貸出 (1) 受付カウンターでのレファレンス(調査・相談)業務に基づき、テーマに関連した図書資料を含めて紹介するとともに、貸出を行った。 (2) 特定テーマによる企画展・ミニ展示を開催し、利用者の関心を惹きつけ、図書資料の紹介と貸出につなげることができた。</p> <p>3 ブックスタート活動の一環とした事業 毎月1回、1歳代の乳幼児を対象に、「あかちゃんおはなし会」を実施した。</p> <p>4 「紙芝居とお話の会」 毎週1回、市民を対象に紙芝居、手遊び等を実施した。</p>																										
	成 果	<ul style="list-style-type: none"> 震災による影響でH23の利用者は激減したが、H24では震災前の7~8割程度まで回復している。 新刊書の購入・提供に力点を置き、さらにリクエスト図書は購入や他館からの借受けて対応した。 レファレンスサービスによる図書資料の紹介の充実を図った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書購入冊数</td> <td>6,703 冊</td> <td>7,150 冊</td> <td>5,845 冊</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>311,884 冊</td> <td>160,474 冊</td> <td>273,185 冊</td> </tr> <tr> <td>リクエスト処理件数</td> <td>7,469 件</td> <td>2,156 件</td> <td>4,684 件</td> </tr> <tr> <td>調査相談サービス</td> <td>1,668 件</td> <td>1,275 件</td> <td>1,558 件</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H22	H23	H24	図書購入冊数	6,703 冊	7,150 冊	5,845 冊	貸出冊数	311,884 冊	160,474 冊	273,185 冊	リクエスト処理件数	7,469 件	2,156 件	4,684 件	調査相談サービス	1,668 件	1,275 件
主な指標項目	H22	H23	H24																								
図書購入冊数	6,703 冊	7,150 冊	5,845 冊																								
貸出冊数	311,884 冊	160,474 冊	273,185 冊																								
リクエスト処理件数	7,469 件	2,156 件	4,684 件																								
調査相談サービス	1,668 件	1,275 件	1,558 件																								
成果に係る評価	<p>・H24の貸出冊数については、目標であった168,790冊を大幅に上回るものとなった。要因としては復興の兆しが見えてきたことと、全体の貸出数に占める割合は少ないものの、10月より開始した図書館・分館ネットワーク事業により利便性が向上したことが考えられる。</p> <p>・震災復興という状況のなかで、情報提供としての本の貸出しはもとより、調査相談サービスに努めたことにより被災者の心のケアや情報ニーズに応えることができた。</p> <p>・しかし、依然として、人口1人当りの図書購入費が、県平均を下回っている状況にあるため、引き続き、図書資料費を確保、拡大させていく必要がある。</p>																										
(単位:円)																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	10,000,000	10,000,000				10,000,000																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()																																								
	6 項	社会教育費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる		()																																								
	4 目	図書館費		(1)	市民の主体的な学習活動を支援する		()																																								
	実施計画掲載ページ	P86		小 事業	図書館活動費																																										
事業コード	05040109	事業名	図書館・分館システムネットワーク事業																																												
目的及び事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館及び分館において、均質のサービスを計画的かつ安定的に市民に提供するため、資料の一元化と図書システムのネットワーク化を実施した。 ・市内のどの地区に住んでいても、本館、分館どこからでも本の貸出・返却をすることができ、また最寄りの館で他館の本の貸出を受けるための体制の構築を図る。 ・利用者の選択肢も増え、利便性に寄与し、サービスの向上を目的とする。 																																														
取組実績	<p>H24年5月に河北分館、10月より河南・牡鹿・桃生分館のネットワークを稼働した。 なお、計画では雄勝分館と北上分館についても更新する予定であったが、震災により施設が全壊したため、導入時期については今後検討していく。</p> <p>ネットワーク計画(システム関連)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>更新(計画)</th> <th>更新(実績)</th> <th>稼働(計画)</th> <th>稼働(実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本館</td> <td>H22年度</td> <td>H22年10月</td> <td>H22年度</td> <td>H22年10月</td> </tr> <tr> <td>河北分館</td> <td>H23年度</td> <td>H24年1月</td> <td>H23年度</td> <td>H24年5月</td> </tr> <tr> <td>雄勝分館</td> <td>H24年度</td> <td>未定</td> <td>H24年度</td> <td>未定</td> </tr> <tr> <td>河南分館</td> <td>H23年度</td> <td>H24年9月</td> <td>H23年度</td> <td>H24年10月</td> </tr> <tr> <td>桃生分館</td> <td>H24年度</td> <td>H24年9月</td> <td>H24年度</td> <td>H24年10月</td> </tr> <tr> <td>北上分館</td> <td>H24年度</td> <td>未定</td> <td>H24年度</td> <td>未定</td> </tr> <tr> <td>牡鹿分館</td> <td>H24年度</td> <td>H24年9月</td> <td>H24年度</td> <td>H24年10月</td> </tr> </tbody> </table>								更新(計画)	更新(実績)	稼働(計画)	稼働(実績)	本館	H22年度	H22年10月	H22年度	H22年10月	河北分館	H23年度	H24年1月	H23年度	H24年5月	雄勝分館	H24年度	未定	H24年度	未定	河南分館	H23年度	H24年9月	H23年度	H24年10月	桃生分館	H24年度	H24年9月	H24年度	H24年10月	北上分館	H24年度	未定	H24年度	未定	牡鹿分館	H24年度	H24年9月	H24年度	H24年10月
	更新(計画)	更新(実績)	稼働(計画)	稼働(実績)																																											
本館	H22年度	H22年10月	H22年度	H22年10月																																											
河北分館	H23年度	H24年1月	H23年度	H24年5月																																											
雄勝分館	H24年度	未定	H24年度	未定																																											
河南分館	H23年度	H24年9月	H23年度	H24年10月																																											
桃生分館	H24年度	H24年9月	H24年度	H24年10月																																											
北上分館	H24年度	未定	H24年度	未定																																											
牡鹿分館	H24年度	H24年9月	H24年度	H24年10月																																											
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・河北分館については、H24年1月にシステム更新し、H24年5月に稼働した。 ・河南・桃生・牡鹿分館については、H24年9月にシステムを更新し10月に稼働した。 <p>本館・分館の図書の移動冊数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本館 ⇄ 河北</td> <td>5</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>453</td> </tr> <tr> <td>本館 ⇄ 雄勝</td> <td>17</td> <td>13</td> <td>休館中</td> <td>休館中</td> </tr> <tr> <td>本館 ⇄ 河南</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>11</td> <td>252</td> </tr> <tr> <td>本館 ⇄ 桃生</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>4</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>本館 ⇄ 北上</td> <td>27</td> <td>22</td> <td>休館中</td> <td>休館中</td> </tr> <tr> <td>本館 ⇄ 牡鹿</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>151</td> </tr> </tbody> </table>								H21	H22	H23	H24	本館 ⇄ 河北	5	12	9	453	本館 ⇄ 雄勝	17	13	休館中	休館中	本館 ⇄ 河南	0	7	11	252	本館 ⇄ 桃生	24	24	4	69	本館 ⇄ 北上	27	22	休館中	休館中	本館 ⇄ 牡鹿	2	2	2	151					
	H21	H22	H23	H24																																											
本館 ⇄ 河北	5	12	9	453																																											
本館 ⇄ 雄勝	17	13	休館中	休館中																																											
本館 ⇄ 河南	0	7	11	252																																											
本館 ⇄ 桃生	24	24	4	69																																											
本館 ⇄ 北上	27	22	休館中	休館中																																											
本館 ⇄ 牡鹿	2	2	2	151																																											
成果に係る評価	<ul style="list-style-type: none"> ・雄勝・北上分館は施設が全壊したため、今後の復旧については雄勝・北上公民館の再開にあわせて事業を実施することとしたい。 ・H24年10月より、河南・桃生・牡鹿分館のシステムが稼働し、その時点において開館している市内の図書館本館・分館、全てにおいて本事業を実施することができた。 ・上記の表のとおり、図書の移動の冊数が大幅に増えたことは、利用者の利便性も図られ、さらにサービスの向上に寄与することができたと考えられる。 																																														
(単位：円)																																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																									
	3,390,450	3,390,450				3,390,450																																									

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()	
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		()	
	10 目	河北総合センター費		(1)	多様な文化芸術活動の広がりや交流を推進する		()	
	実施計画掲載ページ	P86		小 事業	河北総合センター管理費			
事業コード	05030108	事業名	河北総合センター音響設備更新事業					
目的及び事業内容	地域の文化、教育福祉、娯楽活動の向上を図る拠点の役割を果たすため、経年劣化した文化交流ホールの音響設備を更新することにより、利用者の利便性の向上を図るもの。 音響調整卓更新、パッチパネル、アンプ等更新							
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・音響調整卓 1式更新 ・パッチパネル 一式更新 ・アンプ 9台更新 ・スピーカー(ステージ用)7か所更新 ・ワイヤレスアンテナ 4台更新 ・ワイヤレスマイクロホン 6本更新 							
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・音響操作卓の更新により入出力システムの不具合が解消された。また、機器の操作性が向上した。 ・パッチパネルの更新により各マイク、CD、カセット等とミキサー卓の結合部の接触不良が解消され、ノイズの発生や急に音が出なくなる症状の解消が図られた。 ・アンプ及びスピーカー等の交換により安定した音響の出力が確保された。 ・音響設備の更新により、これまでの不具合が改善され安定したホール音響環境の整備が図られた。 							
成果に係る評価	音響設備の更新に伴い、利用者の利便性の向上が図られた。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	17,200,000	14,700,000		14,700,000				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																											
	6 項	社会教育費		第 節		(1)	未来の人を育てる																											
	13 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																											
実施計画掲載ページ	P178		小 事 業	震災復興芸術文化事業費																														
事業コード	40-101-004-265		事 業 名	文化芸術事業																														
目的及び事業内容	市民の心の豊かさの復興が真の復興となるという考えから、市民への芸術鑑賞機会の提供など、被災者を対象とした事業及び一般市民を対象とし復興をテーマとした事業を実施する。																																	
取 組 実 績	<p>文化芸術事業に関するノウハウを有する、財団法人石巻市文化スポーツ振興公社に事業を委託し実施した。</p> <p>1 被災者を対象とした芸術鑑賞事業</p> <table border="1"> <tr> <td>(1) 仮設住宅の集会所及び小ホールを利用した事業</td> <td>4件 6回</td> <td>350名参加</td> </tr> <tr> <td>(2) 市外への鑑賞バスツアー</td> <td>1件 1回</td> <td>39名参加</td> </tr> </table> <p>2 被災者を対象とした文化芸術参加型事業</p> <table border="1"> <tr> <td>(1) 仮設住宅集会所及び市内の公民館等を利用した事業</td> <td>9件14回</td> <td>972名参加</td> </tr> </table> <p>3 被災児童生徒を対象とした文化芸術事業</p> <table border="1"> <tr> <td>(1) 被災した小中学校及び幼稚園等を対象とした事業（アウトリーチ）</td> <td>8件14回</td> <td>885名参加</td> </tr> </table> <p>4 一般市民を対象とした復興をテーマとした文化芸術事業</p> <table border="1"> <tr> <td>(1) 市内の体育施設等を利用した大型事業</td> <td>2件 2回</td> <td>950名参加</td> </tr> <tr> <td>(2) 市内の小ホール等を利用した事業</td> <td>12件12回</td> <td>3,559名参加</td> </tr> <tr> <td>(3) 市外への移動鑑賞ツアー</td> <td>2件 2回</td> <td>94名参加</td> </tr> <tr> <td>(4) 小・中・高等学校等でのアウトリーチ事業</td> <td>6件16回</td> <td>1,440名参加</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>44件67回</td> <td>8,289名参加</td> </tr> </table>							(1) 仮設住宅の集会所及び小ホールを利用した事業	4件 6回	350名参加	(2) 市外への鑑賞バスツアー	1件 1回	39名参加	(1) 仮設住宅集会所及び市内の公民館等を利用した事業	9件14回	972名参加	(1) 被災した小中学校及び幼稚園等を対象とした事業（アウトリーチ）	8件14回	885名参加	(1) 市内の体育施設等を利用した大型事業	2件 2回	950名参加	(2) 市内の小ホール等を利用した事業	12件12回	3,559名参加	(3) 市外への移動鑑賞ツアー	2件 2回	94名参加	(4) 小・中・高等学校等でのアウトリーチ事業	6件16回	1,440名参加	合計	44件67回	8,289名参加
(1) 仮設住宅の集会所及び小ホールを利用した事業	4件 6回	350名参加																																
(2) 市外への鑑賞バスツアー	1件 1回	39名参加																																
(1) 仮設住宅集会所及び市内の公民館等を利用した事業	9件14回	972名参加																																
(1) 被災した小中学校及び幼稚園等を対象とした事業（アウトリーチ）	8件14回	885名参加																																
(1) 市内の体育施設等を利用した大型事業	2件 2回	950名参加																																
(2) 市内の小ホール等を利用した事業	12件12回	3,559名参加																																
(3) 市外への移動鑑賞ツアー	2件 2回	94名参加																																
(4) 小・中・高等学校等でのアウトリーチ事業	6件16回	1,440名参加																																
合計	44件67回	8,289名参加																																
成 果	<p>市民への芸術鑑賞機会を提供し、「心の豊かさの復興」が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>50回</td> <td>67回</td> <td>134%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標		達成率	目標値	実績等	H24	50回	67回	134%																	
区分	成果指標		達成率																															
	目標値	実績等																																
H24	50回	67回	134%																															
成果に係る評価	芸術文化活動の拠点であった市民会館・文化センターが被災、使用できない現状で活動場所が限られていることから、当該事業を継続する必要がある。																																	
(単位：円)																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	13,650,000	13,650,000				13,650,000																												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	6 項	社会教育費		第 節		(3)	減災まちづくりの推進
	13 目	東日本大震災関係費		()		(1)	都市基盤の復旧・復興
復興計画掲載ページ	P116		小 事 業	埋蔵文化財発掘調査事業費			
事業コード	10-301-002-041		事 業 名	埋蔵文化財発掘調査事業〔復興交付金〕			
目的及び事業内容	文化財保護法等に基づき、震災により住宅や店舗等を失った市民が新たに住居や店舗の建築等を行う際に、必要となる埋蔵文化財の発掘調査を実施する。また、大規模開発等における事前の分布調査、試掘・確認調査及び重要遺跡の保存目的調査を実施する。						
取 組 実 績	<p>復興交付金基幹事業の埋蔵文化財発掘調査事業</p> <p>事 業 名 : 個人住宅建築事業 対象遺跡名 : 南境館遺跡 遺跡の所在地 : 石巻市南境</p> <p>事 業 名 : 個人住宅建築事業 対象遺跡名 : 細谷遺跡 遺跡の所在地 : 石巻市桃生町太田</p> <p>事 業 名 : 冷凍作業施設建築事業 対象遺跡名 : 藤畑遺跡 遺跡の所在地 : 石巻市小網倉</p>						
成 果	埋蔵文化財について事業実施前に発掘調査することにより、適切な記録保存が図られた。						
成果に係る評価	埋蔵文化財の適切な記録保存が図られた。なお、今後は各種震災復興関連事業の実施に伴い、相当数の埋蔵文化財包蔵地で発掘調査が必要となることが予想されていることから、復興の遅れとならないよう適切に調査を実施していく必要がある。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	46,459,000	229,425			172,000	57,425	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	6 項	社会教育費		第 節		(1)	未来の人を育てる
	13 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ	P177		小 事業	震災文化財等保護管理費			
事業コード	40-101-004-261		事業名	旧石巻ハリストス正教会教会堂復元事業			
目的及び事業内容	東日本大震災により、壊滅的な被害を受けた市指定文化財の旧石巻ハリストス正教会教会堂を復元する。						
取組実績	津波で壁や窓等が破損したが、奇跡的に外観を保っている教会堂を保存・復元するために、1階内部に支えの支柱を設置したり、風雨で劣化しないように、また、危険な内部に人が侵入しないように、屋根や壁に防水シートを張り、更に教会堂の周囲に建設用足場等で囲い、防風ネットを設置して、保護・保存を図った。						
成 果	養生により市民共有の財産として当面の保存及び内部侵入防止による安全確保が図られた。						
成果に係る評価	建築の専門家の調査では、シートや防風ネット等で養生することにより倒壊の恐れは当分ないとされているが、今後、大きな余震等があるかもしれないので、早期に解体調査等を行い、石巻市復興基本計画との整合性を図りながら、復元場所を決定する必要がある。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	2,400,000	661,500				661,500	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	6 項	社会教育費		第 節		(1)	未来の人を育てる
	13 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ	P178		小 事業	震災文化財等保護管理費			
事業コード	40-101-004-262		事業名	無形民俗文化財再興事業			
目的及び事業内容	東日本大震災により被害を受けた地域固有の伝統芸能及び民俗芸能の対象団体へ支援を行い、地域の絆を再構築するとともに、伝統文化のさらなる発展につなげる。						
取組実績	伝統的な芸能の継承及び発展を図る国・県・市指定無形民俗文化財保持団体に対し、補助金を交付した。						
			団体名	補助金	指定区分		
			雄勝法印神楽保存会	997,497 円	国指定		
			牡鹿法印神楽古実会	71,714 円	県指定		
			寺崎の法印神楽保存会	380,541 円	県指定		
			檜崎法印神楽保存会	62,770 円	県指定		
			皿貝法印神楽保存会	47,410 円	県指定		
			雄勝町秋葉神社氏子会	292,043 円	県指定		
			寺崎のはねこ踊り保存会	538,573 円	県指定		
			渡波獅子風流保存会	183,317 円	市指定		
			福地法印神楽保存会	63,213 円	市指定		
			飯野川法印神楽保存会	13,970 円	市指定		
			渡波塩田つぼ打ち唄保存会	29,728 円	市指定		
			石巻市河南民俗芸能文化財保存協会	218,716 円	市指定		
			神取給人町法印神楽保存会	100,508 円	市指定		
			合 計	3,000,000 円			
	※石巻市河南民俗芸能文化財保存協会は大沢南部神楽、和渕法印神楽、鹿又法印神楽、鹿嶋ばやし、須江獅子舞の保存会の5団体で構成。						
成 果	東日本大震災で被災した指定文化財保持団体の復旧・復興及び後継者育成等維持・継承が図られた。						
成果に係る評価	東日本大震災で被災した指定文化財の復旧により、貴重な文化財の保存・継承が図られた。伝統芸能及び民俗芸能の衣裳・道具等の維持管理・後継者育成には多額の経費を要するため、民間団体の助成金等支援の活用をしていく。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,000,000	3,000,000			3,000,000		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()																								
	7 項	保健体育費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる		()																								
	1 目	保健体育総務費 体育館費		(2)	市民の主体的なスポーツ活動を支援する		()																								
実施計画掲載ページ		P87	小 事 業	体育奨励費、体育館管理費																											
事業コード		05040201	事 業 名	スポーツ振興事業																											
目的及び事業内容		市民の一体感の醸成、市民の健康づくりと交流促進、生涯スポーツ社会の実現、成人のスポーツ実施率の向上、青少年の健全育成と交流促進、スポーツ少年団加入率の向上及び総合型地域スポーツクラブの拠点づくりを目的とし、石巻ふれあいマラソン大会、いしのまき市民スポーツフェスタ、石巻市小学生リレーマラソン大会及びいしのまきキッズ交流大会を実施するもの。																													
取組実績		<p>1 石巻ふれあいマラソン大会（旧石巻シーサイドマラソン大会） 震災の影響により開催中止</p> <p>2 いしのまき市民スポーツフェスタ 気軽に参加できるスポーツを通し、市民の健康づくりと交流、地域間の連携の強化を図りながら成人のスポーツ実施率の向上を目指した。 なお、平成24年度より、特定非営利活動法人石巻市体育協会への委託事業として「協働」で実施し、更に市民スポーツ参加の底辺拡大に努めた。</p> <p>3 石巻市小学生リレーマラソン大会 スポーツを通じた青少年の健全育成、子ども達の体力・運動能力の向上と市民の一体感を醸成する事業の一環として、市内小学校及びスポーツ少年団対抗のリレーマラソン大会を実施した。なお、平成24年度より、特定非営利活動法人石巻市体育協会への委託事業として「協働」でいしのまきキッズ交流大会と合体して実施し、更に市民スポーツ参加の一翼を担った。</p> <p>4 いしのまきキッズ交流大会 市内スポーツ少年団及び小・中学校の交流により、青少年の健全育成及び地域間の連携と強化を図るため、平成24年度より、特定非営利活動法人石巻市体育協会への委託事業として「協働」で石巻市小学生リレーマラソン大会と合体して実施し、市民のスポーツ参加の一翼を担った。</p>																													
成 果		<p>・震災による応急仮設住宅立地等の諸事情により、石巻ふれあいマラソン大会を中止した。 ・小学生リレーマラソン大会といしのまきキッズ交流大会を合体し、更に、スポーツ少年団交流大会と併せて実施するなど工夫を凝らし駅伝大会として開催した。</p> <p>(参加者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>石巻ふれあいマラソン大会</th> <th>市民スポーツフェスタ</th> <th>小学生リレーマラソン大会</th> <th>いしのまきキッズ交流大会</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>1,783人</td> <td>704人</td> <td>215人</td> <td>332人</td> <td>3,034人</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>—</td> <td>314人</td> <td>—</td> <td>375人</td> <td>689人</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>—</td> <td>197人</td> <td colspan="2">800人</td> <td>997人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	石巻ふれあいマラソン大会	市民スポーツフェスタ	小学生リレーマラソン大会	いしのまきキッズ交流大会	計	H22	1,783人	704人	215人	332人	3,034人	H23	—	314人	—	375人	689人	H24	—	197人	800人		997人
年度	石巻ふれあいマラソン大会	市民スポーツフェスタ	小学生リレーマラソン大会	いしのまきキッズ交流大会	計																										
H22	1,783人	704人	215人	332人	3,034人																										
H23	—	314人	—	375人	689人																										
H24	—	197人	800人		997人																										
成果に係る評価		東日本大震災の影響により、石巻ふれあいマラソン大会は開催できなかったものの、体育施設の復旧状況に合わせて、工夫を凝らした形で3事業を実施することができた。 なお、これらの事業には、「成人のスポーツ実施率の向上」、「子どもたちの体力と運動能力の向上」を達成するために必要な要素が含まれていることから、被災地(被災者)の復興状況と照らし合わせながら、スポーツの振興が図られる環境づくりを推進した。																													
(単位：円)																															
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
		617,000	617,000				617,000																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																																																																																																	
	7 項	保健体育費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																																																																																																	
	3 目	学校給食費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																																																																																																																	
実施計画掲載ページ		P20	小 事 業	学校給食センター運営費、賄材料費																																																																																																																				
事業コード		02010214	事 業 名	学校給食センター運営事業																																																																																																																				
目的及び事業内容		児童・生徒に豊かで栄養のバランスのとれた食事を提供し、心身の健全な育成に資する。学校給食を通じて望ましい食生活習慣の基盤形成を促すとともに、会食をとおして豊かな人間関係を育成する。 地場産物を使い地域の特色を生かした学校給食を提供することにより、地域の産物や食文化を理解し尊重する心を育てる。																																																																																																																						
取組実績		<p>実施状況</p> <p style="text-align: right;">(平成25年1月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校・園数</th> <th>児童・生徒・園児数</th> <th>給食形態</th> <th>調理場方式</th> <th>給食実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>42校</td> <td>7,676人</td> <td>完全給食</td> <td>共同調理場方式</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>21校</td> <td>4,254人</td> <td>完全給食</td> <td>共同調理場方式</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td>3園</td> <td>190人</td> <td>完全給食</td> <td>共同調理場方式</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">センター名</th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="2">幼稚園</th> <th colspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>対象校数</th> <th>児童数</th> <th>対象校数</th> <th>生徒数</th> <th>対象園数</th> <th>園児数</th> <th>対象校・園数</th> <th>児童・生徒・園児数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>湊学校給食センター</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>渡波学校給食センター</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>石巻西学校給食センター</td> <td>6校</td> <td>2,676人</td> <td>3校</td> <td>1,017人</td> <td></td> <td></td> <td>9校</td> <td>3,693人</td> </tr> <tr> <td>住吉学校給食センター</td> <td>9校</td> <td>2,211人</td> <td>4校</td> <td>1,293人</td> <td>1園</td> <td>16人</td> <td>14校(園)</td> <td>3,520人</td> </tr> <tr> <td>河北学校給食センター</td> <td>13校</td> <td>1,295人</td> <td>8校</td> <td>981人</td> <td>1園</td> <td>101人</td> <td>22校(園)</td> <td>2,377人</td> </tr> <tr> <td>河南学校給食センター</td> <td>9校</td> <td>1,381人</td> <td>3校</td> <td>672人</td> <td>1園</td> <td>73人</td> <td>13校(園)</td> <td>2,126人</td> </tr> <tr> <td>牡鹿学校給食センター</td> <td>5校</td> <td>113人</td> <td>3校</td> <td>291人</td> <td></td> <td></td> <td>8校</td> <td>404人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>42校</td> <td>7,676人</td> <td>21校</td> <td>4,254人</td> <td>3園</td> <td>190人</td> <td>66校(園)</td> <td>12,120人</td> </tr> </tbody> </table>						区分	学校・園数	児童・生徒・園児数	給食形態	調理場方式	給食実施率	小学校	42校	7,676人	完全給食	共同調理場方式	100%	中学校	21校	4,254人	完全給食	共同調理場方式	100%	幼稚園	3園	190人	完全給食	共同調理場方式	100%	センター名	小学校		中学校		幼稚園		計		対象校数	児童数	対象校数	生徒数	対象園数	園児数	対象校・園数	児童・生徒・園児数	湊学校給食センター									渡波学校給食センター									石巻西学校給食センター	6校	2,676人	3校	1,017人			9校	3,693人	住吉学校給食センター	9校	2,211人	4校	1,293人	1園	16人	14校(園)	3,520人	河北学校給食センター	13校	1,295人	8校	981人	1園	101人	22校(園)	2,377人	河南学校給食センター	9校	1,381人	3校	672人	1園	73人	13校(園)	2,126人	牡鹿学校給食センター	5校	113人	3校	291人			8校	404人	計	42校	7,676人	21校	4,254人	3園	190人	66校(園)	12,120人
区分	学校・園数	児童・生徒・園児数	給食形態	調理場方式	給食実施率																																																																																																																			
小学校	42校	7,676人	完全給食	共同調理場方式	100%																																																																																																																			
中学校	21校	4,254人	完全給食	共同調理場方式	100%																																																																																																																			
幼稚園	3園	190人	完全給食	共同調理場方式	100%																																																																																																																			
センター名	小学校		中学校		幼稚園		計																																																																																																																	
	対象校数	児童数	対象校数	生徒数	対象園数	園児数	対象校・園数	児童・生徒・園児数																																																																																																																
湊学校給食センター																																																																																																																								
渡波学校給食センター																																																																																																																								
石巻西学校給食センター	6校	2,676人	3校	1,017人			9校	3,693人																																																																																																																
住吉学校給食センター	9校	2,211人	4校	1,293人	1園	16人	14校(園)	3,520人																																																																																																																
河北学校給食センター	13校	1,295人	8校	981人	1園	101人	22校(園)	2,377人																																																																																																																
河南学校給食センター	9校	1,381人	3校	672人	1園	73人	13校(園)	2,126人																																																																																																																
牡鹿学校給食センター	5校	113人	3校	291人			8校	404人																																																																																																																
計	42校	7,676人	21校	4,254人	3園	190人	66校(園)	12,120人																																																																																																																
成 果		<p>1 栄養の改善及び増進が図られた。 2 日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養うことができた。 3 食育における食文化の継承として、学校給食において次の地場産物利用を図り、食事の提供のみならず「生きた教材」として地域の産物や食文化を理解し尊重する心を育成した。 4 明治時代から続く近代捕鯨という伝統的地域特性を生かし、災害時でも日本鯨類研究所の協力を得て、全学校に対し鯨肉を使用した給食を提供できた。 5 給食費の未納対策に関して、教育委員会と学校が一体となり収納対策に努め、納入者の不公平感の解消及び適切な財源確保に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>滞納学校数</th> <th>滞納者数</th> <th>滞納繰越額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>16校</td> <td>93人</td> <td>2,389,629円</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>21校</td> <td>80人</td> <td>2,754,580円</td> </tr> <tr> <td>比較増減</td> <td>5校</td> <td>△ 13人</td> <td>364,951円</td> </tr> </tbody> </table>						年度	滞納学校数	滞納者数	滞納繰越額	H23	16校	93人	2,389,629円	H24	21校	80人	2,754,580円	比較増減	5校	△ 13人	364,951円																																																																																																	
年度	滞納学校数	滞納者数	滞納繰越額																																																																																																																					
H23	16校	93人	2,389,629円																																																																																																																					
H24	21校	80人	2,754,580円																																																																																																																					
比較増減	5校	△ 13人	364,951円																																																																																																																					
成果に係る評価		学校給食については、児童・生徒の心身の健全な発育、正しい食習慣の形成、健康管理のための食生活改善等の目的がある。また、生きた教材として地場産物を使った献立等を提供し食育に資することも求められており、平成23年度では、震災の影響で、一旦使用割合が落ち込んだが、平成24年度においては、震災前の使用割合まで戻す事が出来た。 給食費の未納対策については、引き続き震災の影響もある中、これまでの地道な活動の成果が確認出来る結果となったので、今後も引き続き対応していきたい。 また、震災により湊及び渡波学校給食センターが被災したため、施設が使用できない状況が続いているが、平成24年度から東松島市より解体予定だった給食調理施設を譲り受け給食を提供している。しかし、老朽施設のため、多大な修繕料等が見込まれており、また、児童・生徒・園児に「安全・安心」な学校給食を提供するためにも、早急に新たな給食センターを建設する必要がある。																																																																																																																						
(単位：円)																																																																																																																								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																	
		936,235,000	910,901,992			603,539,499	307,362,493																																																																																																																	